

取扱説明書

スキャントロニクス®

BF400Rシリーズ

このたびは、弊社スキャントロニクス BF400R シリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございました。

本書をよくお読みいただき、BF400R シリーズの機能を理解し、正しくお使いください。

- 安全上のご注意 1
- 設置及び取り扱い上の注意 4
- 箱から出しましょう 5
- 各部の名称 7
- 電源を入れてみましょう 10
- 用紙のセット 13
- オプション使用時のセット 24
- 動かしてみましょう 29
- あれ？どうしたのかな？ 58
- オプションについて 68
- 毎日のお手入れ 69
- 基本仕様 71
- アフターフォローについて 74

サトー製プリンタには、サトーのサプライ製品のご使用をお願いします。

安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は差込みプラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

警告

■不安定な場所に置かない



・ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。

■水などの入った容器を置かない



・プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■内部に異物を入れない



・プリンタの開口部（ケーブルの出口やメモ리카ード取付口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



■指定以外の電圧は使用しない



・指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

警告

■必ずアース線を接続して



- 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。



■電源コードの取り扱いについて



- 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■落としたり、破損したときは



- プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



■異常な状態で使用しない



- 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



■分解しないでください



- プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご依頼ください。



■カッタについて



- カッタに手やものを入れないでください。ケガをするおそれがあります。

■プリンタ清掃液の取り扱いについて



- プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。
- お子様が間違っって飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。



注意

■湿度が高い場所に置かない



- プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

■持ち運び



- 移動されるときは、必ず電源コードの差込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。
- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。
- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。



⚠ 注意

■電源



- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

■電源コード



- 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。



- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、差込みプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。



- 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

■カバー



- カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。

■サーマルヘッド



- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。



- サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。
- お客様によるサーマルヘッドの交換は、行わないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。

■サーマルヘッドの開閉



- サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

■用紙のセット



- ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。



- ファンフォールド紙通しカバーを外すとき、ケガをしないように注意して行ってください。

■簡易カッタ



- 刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

■長期間ご使用にならないとき



- プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。

■お手入れ・清掃のとき



- プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

ご 注 意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店ディーラーへご連絡ください。
- (4) この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設置及び取り扱い上の注意

つぎのことに注意して、設置、取り扱いをおこなってください。

▲設置場所について

つぎのことに注意して、本プリンタを設置してください。

水平な場所に置いてください。

設置する場所が、でこぼこや斜めの場合、きれいな印字ができません。また、故障の原因になり、プリンタの寿命を短くするおそれがあります。



振動のある場所には置かないでください。

振動のある場所には設置しないでください。

また、ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。



高温・多湿の場所には置かないでください。

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。

温度・湿度が高くなりますと故障の原因になります。



ほこりを避けて使用してください。

ほこりがつくときれいに印字できなくなることがあります。また、故障の原因になるだけでなく、製品の寿命を短くするおそれがあります。



直射日光はきらいです。

本プリンタは光学センサを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサが誤作動を起こすことがあります。印字するときは必ずカバーを閉じてください。



クレーンやプレス機などのそばには置かないでください。

クレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本プリンタの誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本プリンタを置かないでください。



▲電源について

本プリンタは、AC100Vの交流電源が必要です。



電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。



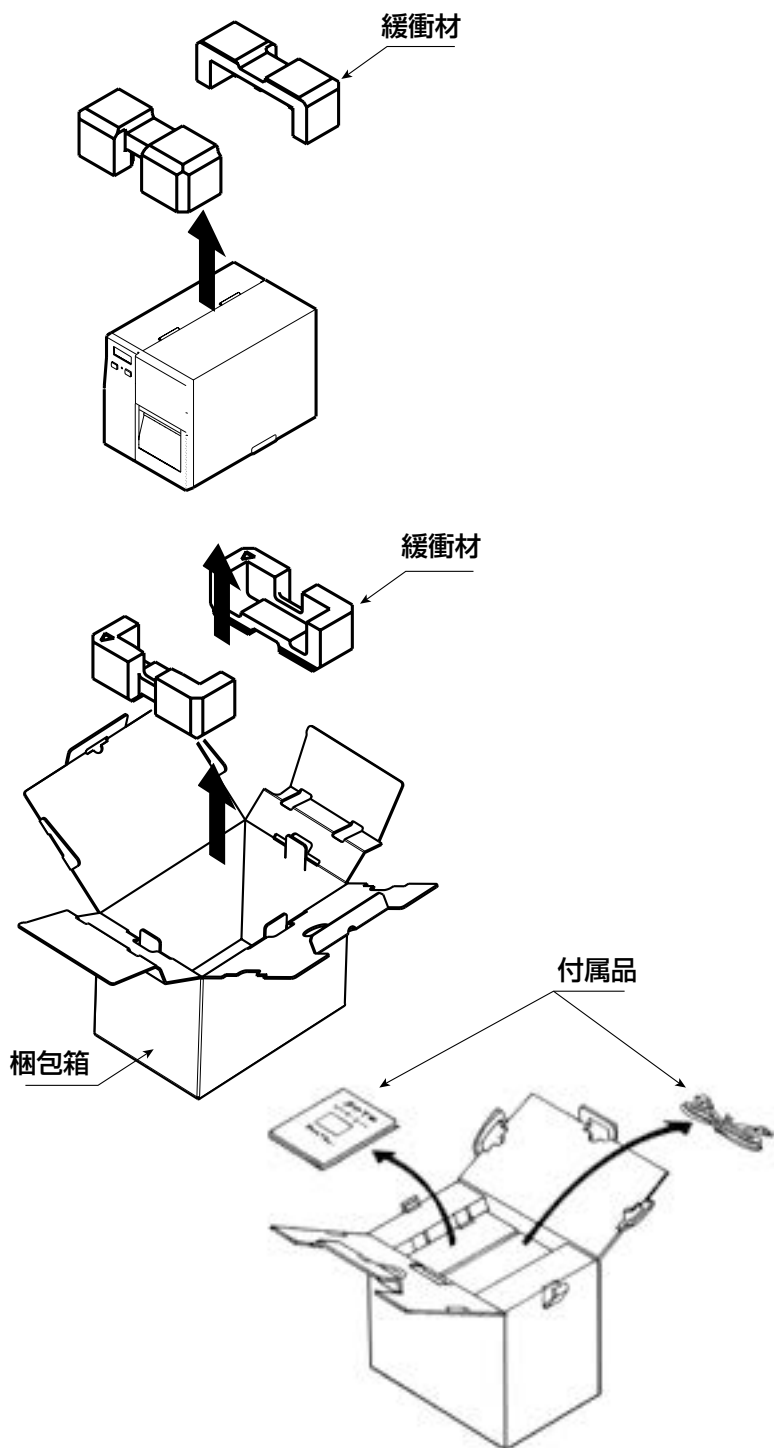
必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。



箱から出しましょう

本プリンタを箱から出して設置します。
それでは箱を開けましょう。



※緩衝材（プリンタ押えのクッション）の形状が一部異なる場合があります。

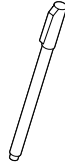
添付品の確認

箱を開けたら、つぎの添付品が揃っているか確認してください。

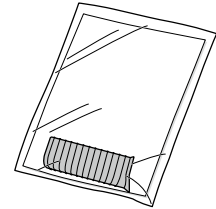
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店・ディーラーまでお問い合わせください。



保証書



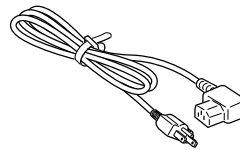
クリーニングペン



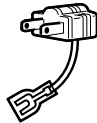
ファンフォールド
ガイドセット



ダウンロードガイド
安全上のご注意



電源コード

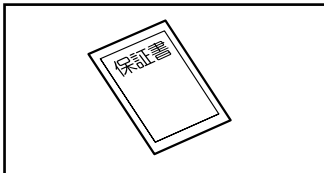


3極-2極変換アダプタ

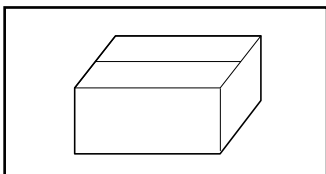


リボン支管

▲ 保証書と箱は大切に



本プリンタは、正常なご使用のもとにおける故障については、納入より6か月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、添付の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。



また、本プリンタを梱包していた箱とプリンタ押え（緩衝材）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本プリンタを梱包して送っていただけます。

各部の名称

▲プリンタ本体

オープンカバー

操作パネル部

フロントカバー



インターフェースボード
(オプション)

IEEE1284、RS-232C、
USB、LAN、無線 LAN から
1つ選択できます。

ナイロンリベット

ファンフォールド紙をセット
するときに取外します。

ファンフォールド紙通し口カバー
ファンフォールド紙を使用する際に
取外します。

ヒューズカバー

ヒューズが中に入っています。

AC 入力電源端子 (電源コネクタ)

電源コードを差し込み、本プリンタに
電源を供給します。

電源スイッチ

本プリンタの電源を入れるとき、
切るときに使用します。
一側に押すと電源が入ります。
○側に押すと電源が切れます。

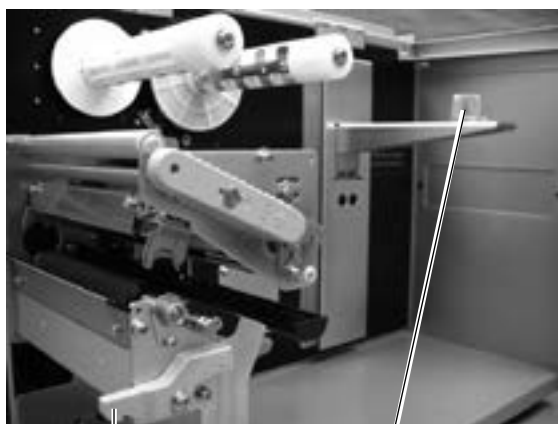
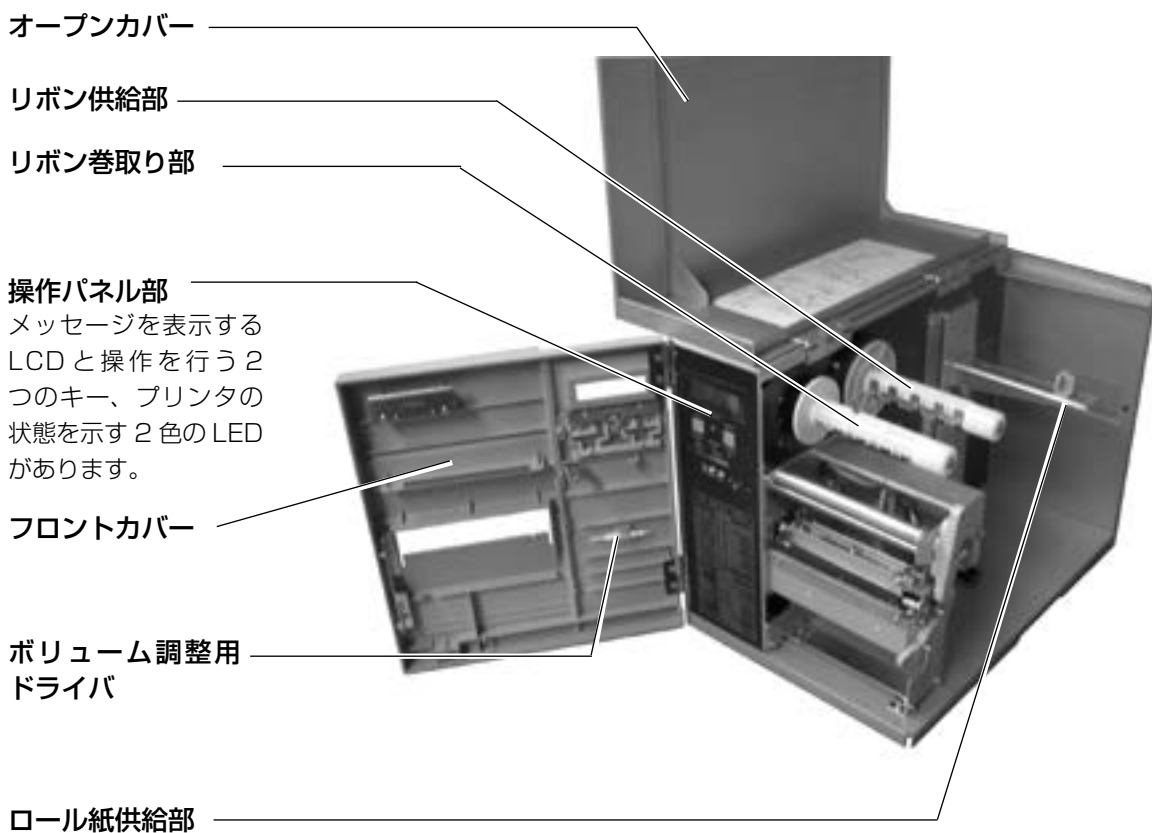
EXT コネクタ

外部信号インターフェース



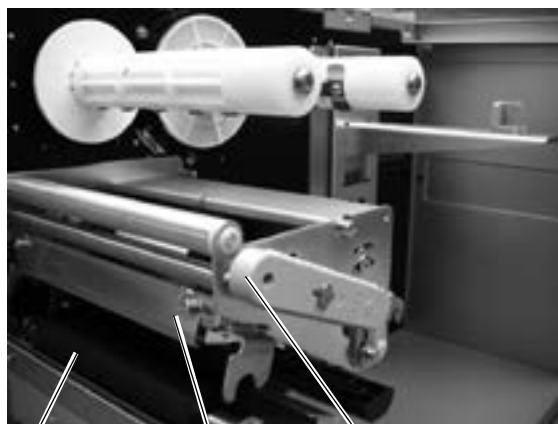
ヒューズ

本プリンタに、一定以上の電流が流
れるとヒューズが切れて本プリンタ
を故障から守ります。



フロントカバーオープンレバー

ラベルストップ
ロール紙を固定します。



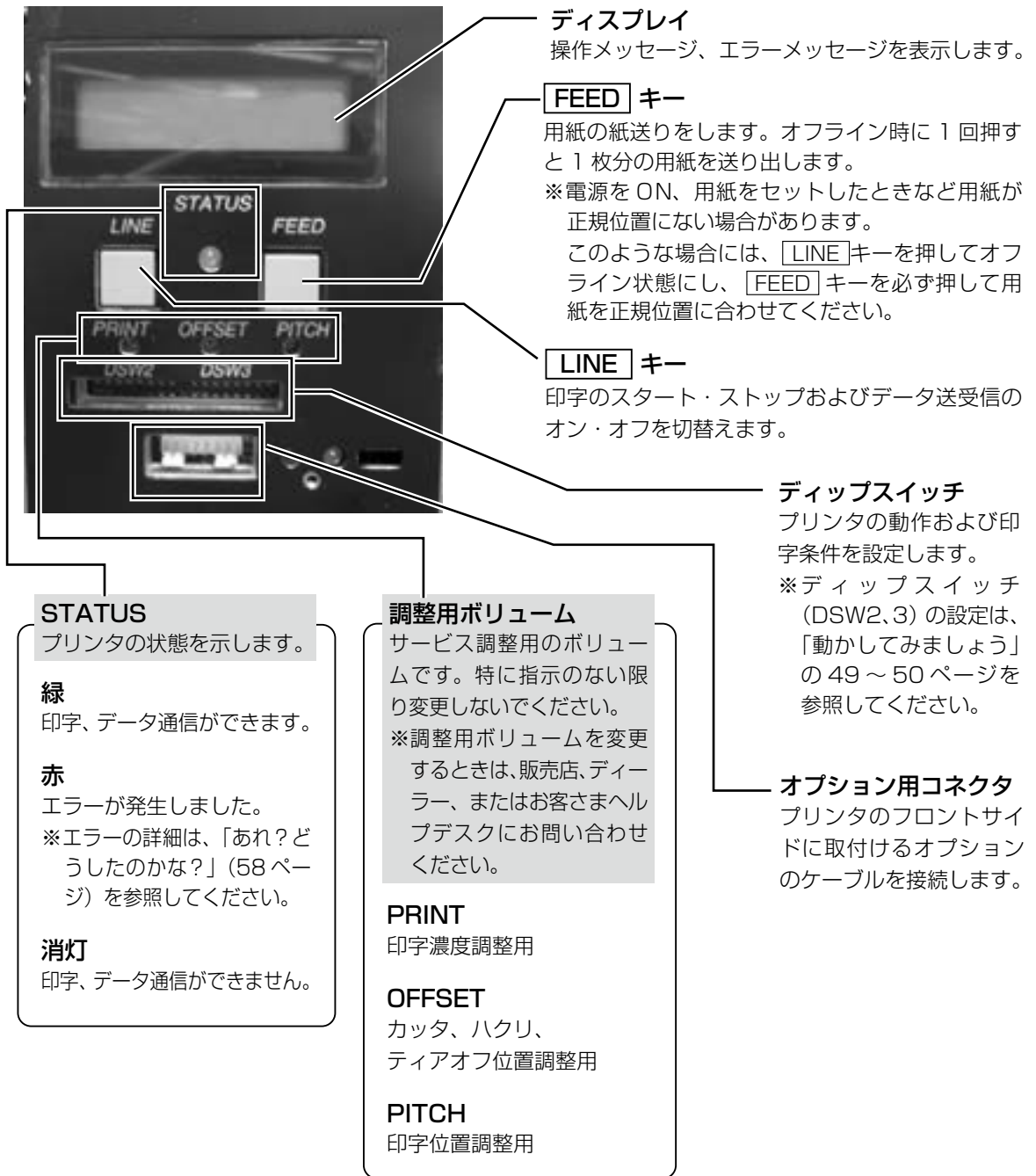
プラテンローラー (消耗部品)
印字した用紙を送ります。
定期的にお手入れしてください。

ヘッドロックレバー

サーマルヘッド (消耗部品)
用紙に印字する部分です。
定期的にお手入れしてください。

▲操作パネル部

操作メッセージやエラーメッセージが表示されます。
メッセージは半角サイズの英数字で表示されます。



電源を入れてみましょう

電源コードを本プリンタにセットして電源を入れます。

電源コードを接続する

⚠ 警告

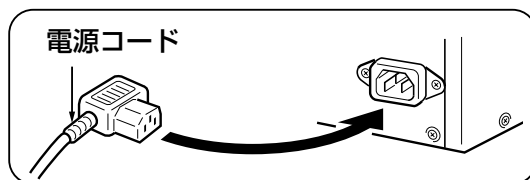
- 必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 注意

- 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

▲ プリンタの AC 入力電源端子に電源コードを接続します。

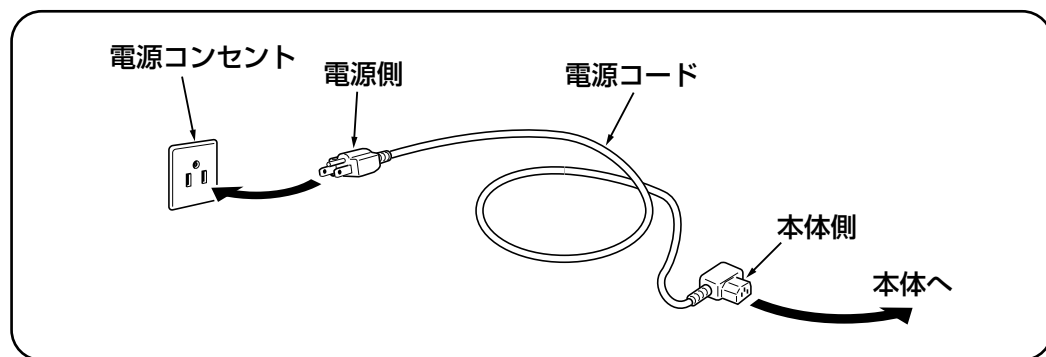
差し込む向きを確認してください。
プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと
差し込んでください。



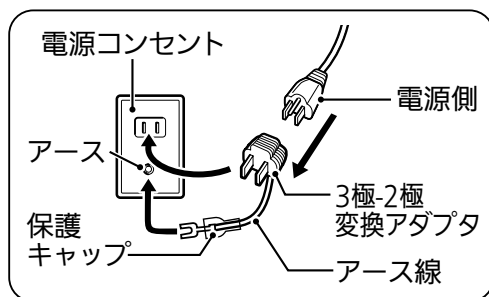
▲ 電源コンセントに電源コードを差し込みます。

添付の電源コードのプラグの形は、3極タイプになっています。3本の足のうち1本がアース線
になっています。

ご使用の電源コンセントが3極タイプの場合は、そのまま電源コードを差し込んでください。



電源コンセントが2極タイプの場合は、付属
の3極-2極変換アダプタを使い、右図のよう
に必ずアース線を接続してください。
3極-2極変換アダプタの保護キャップを外
し、アース線をアース端子に接続してから
差し込みプラグを接続してください。



電源を入れてみましょう

⚠ 警告

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



電源スイッチを入れます。「-」と書いてある側を押してください。

電源を入れると、ディスプレイにつきのよ
うに「ONLINE」と表示されます。

ONLINE

QTY:000000

あれ？おかしいな

今までにおこなった準備が正しくできていないときは、ディスプレイに「ONLINE」と表示されません。準備が正しくできていないときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが、表示されたときは「あれ？どうしたのかな？」(58 ページ)を参照し、準備をし直してください。

電源を切りましょう

本プリンタが正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。

▲電源を切る前に確認してください

必ず次のことをおこなってから、電源を切ってください。

オフライン状態にする

本プリンタの電源を切るときは、オフライン状態になっていることを確認してください。ディスプレイにつきのように「ONLINE」と表示されているときは、オンライン状態になっています。



ONLINE
QTY:000000



[LINE] キーを押して、オフライン状態にします。ディスプレイに「OFFLINE」と表示されます。



OFFLINE
000000

オフライン状態になっていることを確認して、本プリンタ後部の電源スイッチの「○」と書いてある側を押してください。

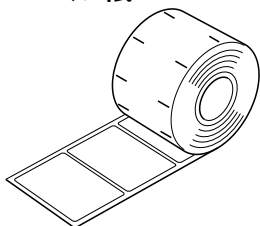


用紙のセット

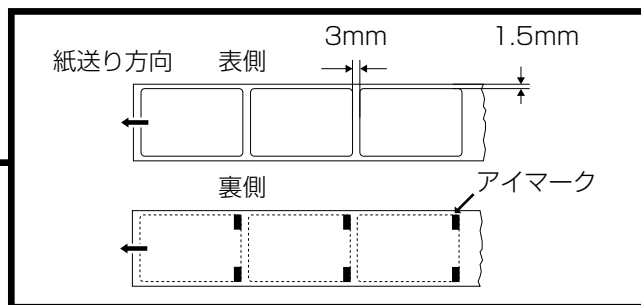
本プリンタはロール紙・ファンフォールド紙の用紙に印字することができます。
ロール紙とファンフォールド紙では、用紙のセットのしかたがちがいます。
本プリンタは、アイマークをセンサで検知することにより、適切な印字を行います。

弊社指定の用紙のご使用をお願いします。

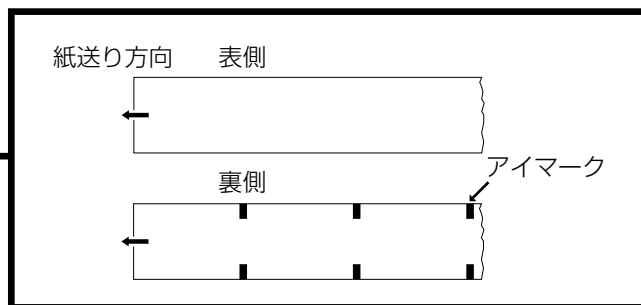
ロール紙



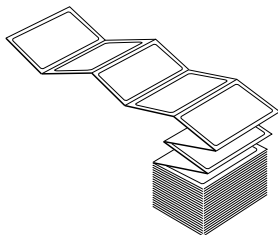
ラベルタイプ



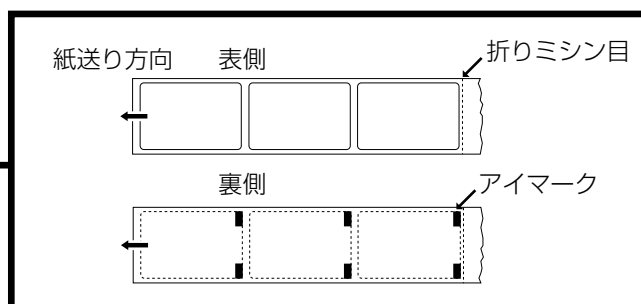
糊なしタイプ



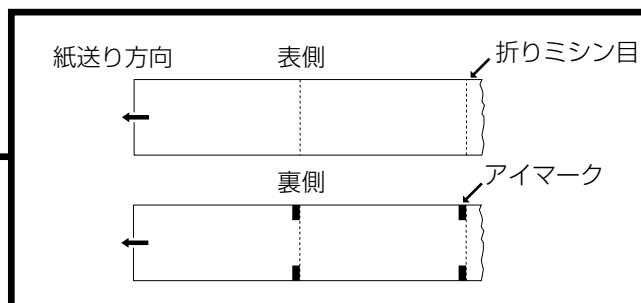
ファンフォールド紙



ラベルタイプ



糊なしタイプ



ロール紙のセット

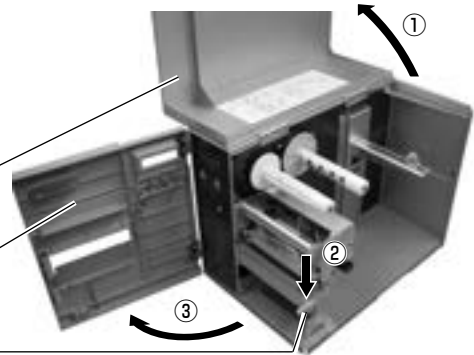
1

オープンカバーを開けます。
次にフロントカバーオープンレバーを下に押し、フロントカバーを開きます。

オープンカバー

フロントカバー

フロントカバー
オープンレバー



⚠ 注意

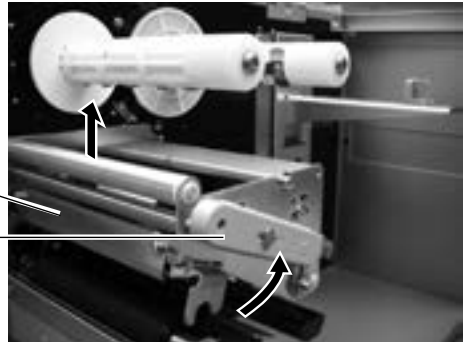
- オープンカバーを開くときは、上部までしっかり開いてください。

2

ヘッドロックレバーを矢印の方向に上に上げます。
サーマルヘッドが開きます。

サーマルヘッド

ヘッドロックレバー



3

スライドガイドを手前に引き、斜めに倒しておきます。

スライドガイド



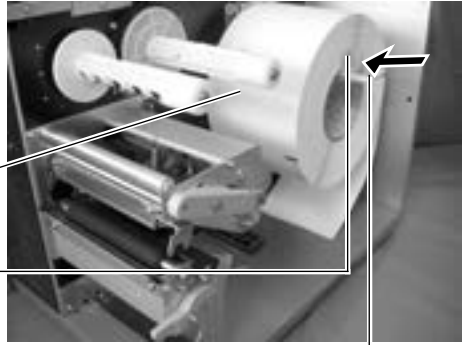
4

ロール紙供給部に用紙をセット
します。
ラベルストッパを移動して、用
紙が動かないように調整します。

ロール紙

ラベルストッパ

ロール紙供給部

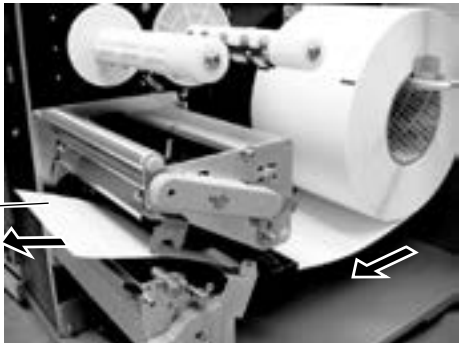
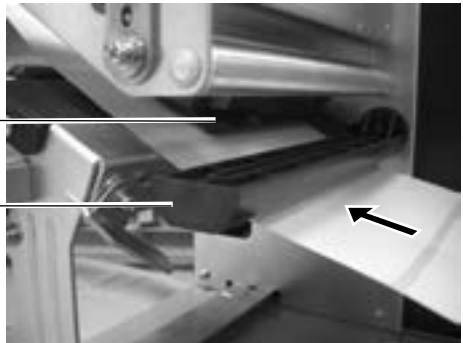
**5**

用紙をラベルガイド、用紙セン
サの下に通します。

用紙センサ

ラベルガイド

ラベル



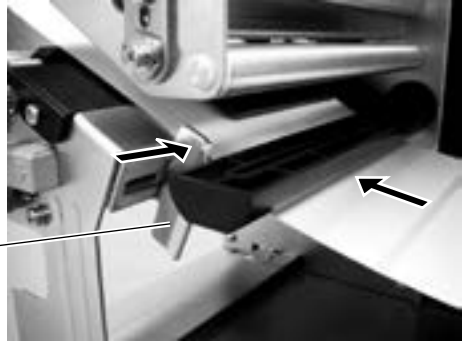
⚠ 注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

6

スライドガイドを立直し、用紙の手前の端が、軽く触れるようにスライドガイドを調整します。

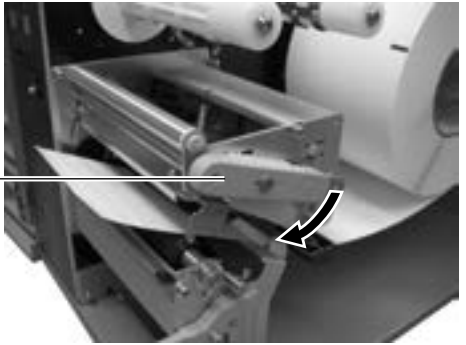
スライドガイド



7

ヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。

ヘッドロックレバー

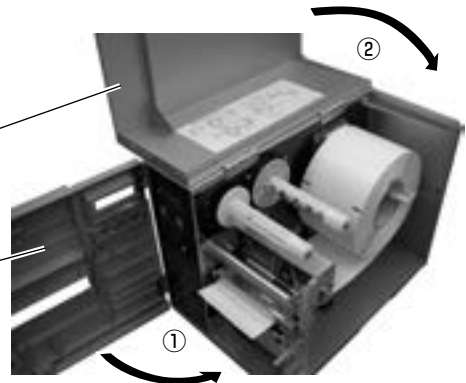


8

フロントカバー、オープンカバーの順番にカバーを閉めます。

オープンカバー

フロントカバー



! 注意

- カバーを閉めるときは、カバーに指をはさまないように注意して行ってください。

ファンフォールド紙のセット

1

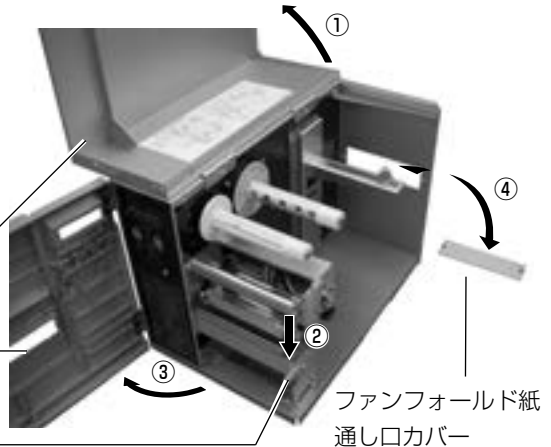
オープンカバーを開けます。
次にフロントカバーオープンレバーを下に押し、フロントカバーを開きます。
プリンタ内部よりナイロンリベットを押して、ファンフォールド紙通し口カバーも外します。

ファンフォールド紙通し口に、ファンフォールド紙ガイドを取付けてください。(取付け方法はファンフォールド紙ガイドに添付の取扱説明書を参照してください。)

オープンカバー

フロントカバー

フロントカバー
オープンレバー

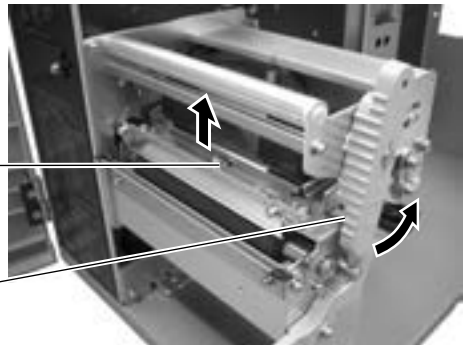


2

ヘッドロックレバーを矢印の方向に上に上げます。
サーマルヘッドが開きます。

サーマルヘッド

ヘッドロックレバー



3

スライドガイドを手前に引き、斜めに倒しておきます。



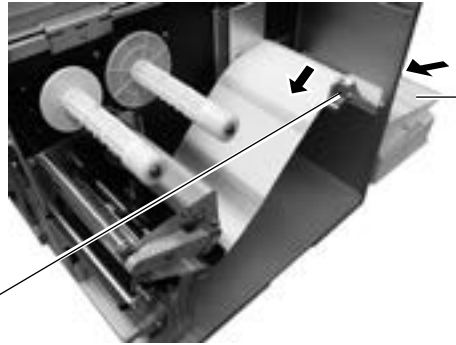
スライドガイド



4

ファンフォールド紙をプリンタの後ろに置き、ファンフォールド紙通し口よりロール紙供給部に用紙を通します。
ラベルストップを移動して、用紙の端にラベルストップが軽く触れるように調整します。

ファンフォールド紙



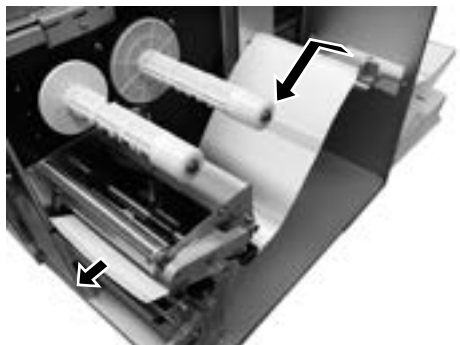
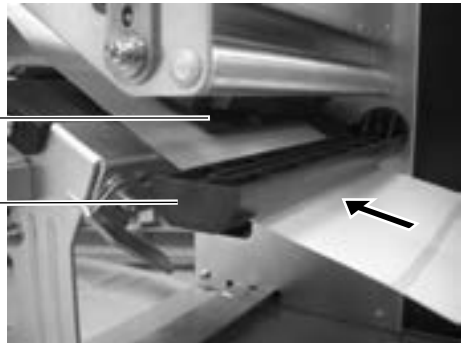
ラベルストップ

5

用紙をラベルガイド、用紙センサの下に通します。

用紙センサ

ラベルガイド

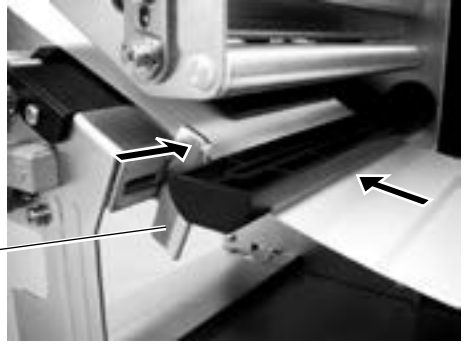


⚠ 注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

6

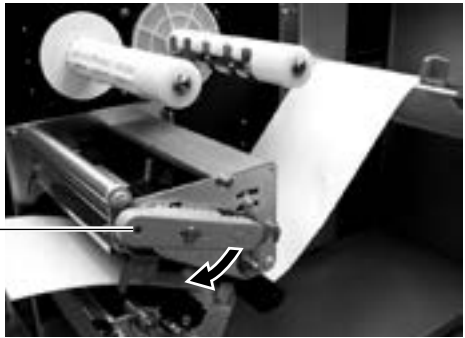
スライドガイドを立直し、用紙の手前の端が、軽く触れるようにスライドガイドを調整します。



スライドガイド

7

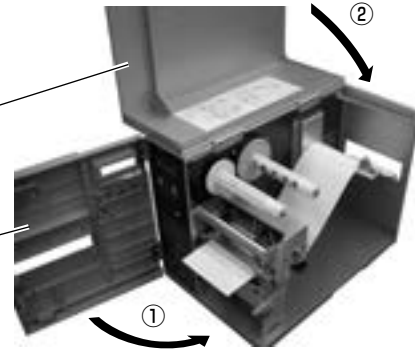
ヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。



ヘッドロックレバー

8

フロントカバー、オープンカバーの順番にカバーを閉めます。



オープンカバー

フロントカバー



注意

- カバーを閉めるときは、カバーに指をはさまないように注意して行ってください。

用紙センサの調整

通常は、一番奥（センタフレーム側）の位置で使用します。

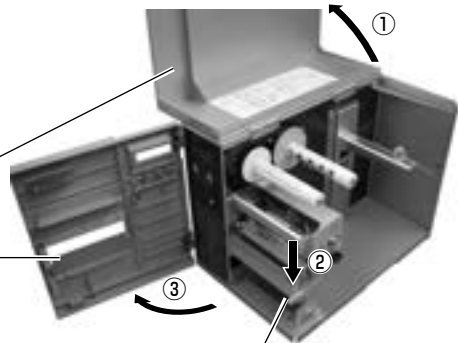
1

オープンカバーを開けます。
次にフロントカバーオープンレバーを下に押し、フロントカバーを開きます。

オープンカバー

フロントカバー

フロントカバーオープンレバー

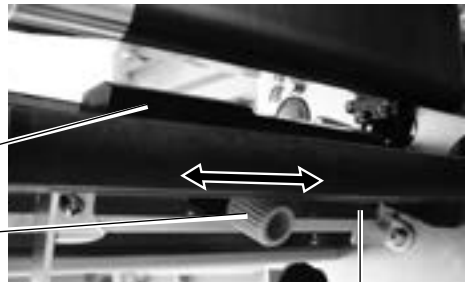


2

スライドガイドの奥にある用紙センサつまみをスライドさせ、用紙センサ位置の調整をします。

用紙センサ

用紙センサつまみ



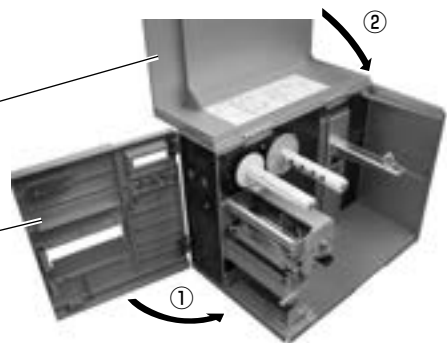
センタフレーム側

3

フロントカバー、オープンカバーの順番にカバーを閉めます。

オープンカバー

フロントカバー



⚠ 注意

- カバーを閉めるときは、カバーに指をはさまないように注意して行ってください。

カーボンリボンのセット

弊社指定のカーボンリボンのご使用をお願いします。

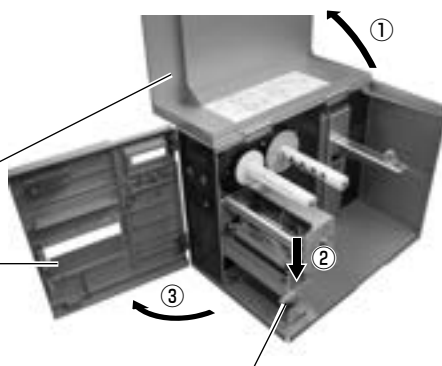
1

オープンカバーを開けます。
次にフロントカバーオープンレバーを下に押し、フロントカバーを開きます。

オープンカバー

フロントカバー

フロントカバーオープンレバー

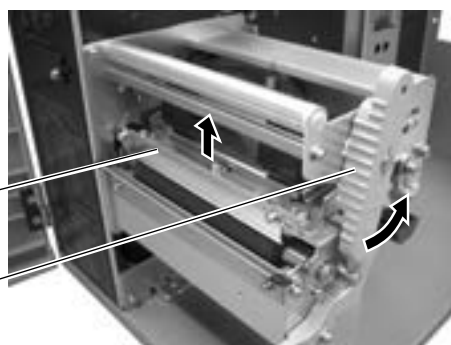


2

ヘッドロックレバーを矢印の方向に上に上げます。
サーマルヘッドが開きます。

サーマルヘッド

ヘッドロックレバー

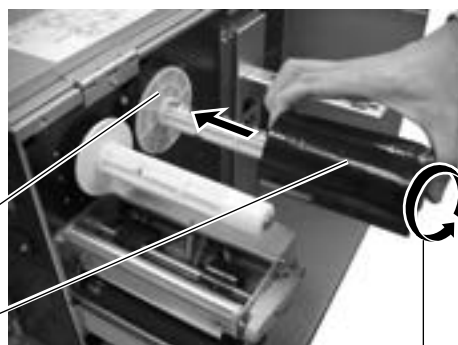


3

リボン供給部にカーボンリボンを入れてください。
カーボンリボンを奥まで入れてください。(巻方向に注意してください。ルートステッカを参照してください。)

リボン供給部

カーボンリボン

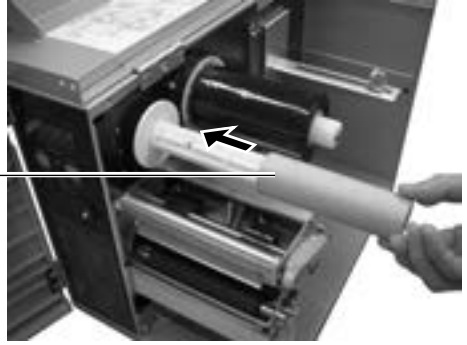


リボン巻方向

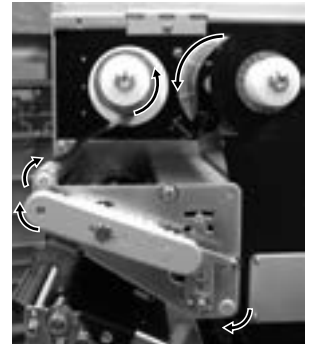
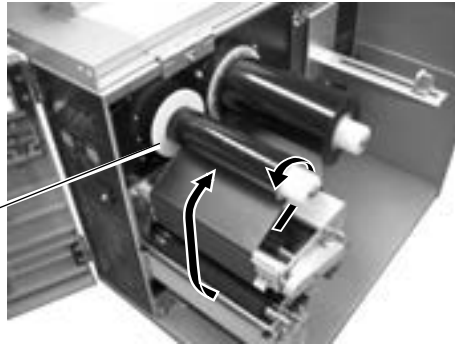
4

リボン巻取り部に支管をセットします。

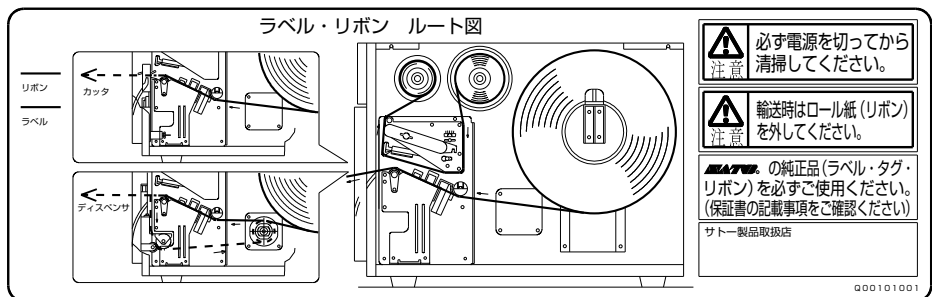
支管

**5**

カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部へ通します。支管にカーボンリボンをテープなどで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻取ります。横から見て下図のようにカーボンリボンがセットされていることを確認してください。

リボン
巻取り部

オープンカバーに貼られているルートステッカを参照してください。



ルートステッカ

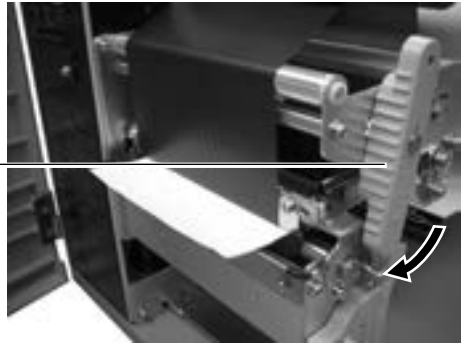
注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後のカーボンリボンの交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- カーボンリボン交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

6

用紙をセットし、ヘッドロックレバーを矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。

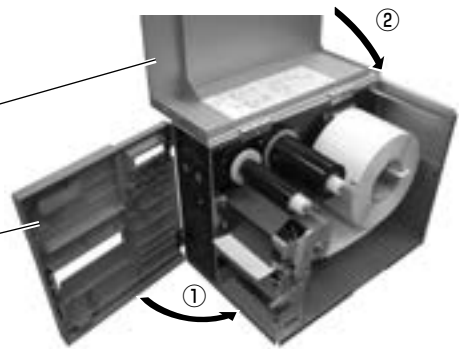
ヘッドロックレバー

**7**

フロントカバー、オープンカバーの順番にカバーを閉めます。

オープンカバー

フロントカバー



⚠ 注意

- カバーを閉めるときは、カバーに指をはさまないように注意して行ってください。

オプション使用時のセット

カッタ仕様（オプション）

▲用紙のセット

1

オープンカバーとフロントカバーを開きます。

2

カーボンリボンをセットします。
カーボンリボンのセットの2～5項参照（21～22ページ）

3

用紙をセットします。
ロール紙のセットの3～6項参照（14～16ページ）

4

プラテンローラーの上に用紙の先端をセットし、ヘッドロックレバーを回しサーマルヘッドを閉じます。

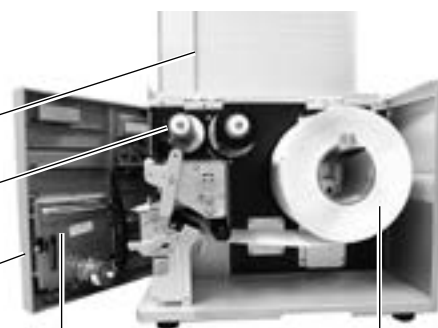
5

フロントカバーとオープンカバーを閉めます。

オープンカバー

カーボンリボン

フロントカバー



カッタユニット

ロール紙

⚠ 注意

- カバーを閉めるときは、カバーに指をはさまないように注意して行ってください。

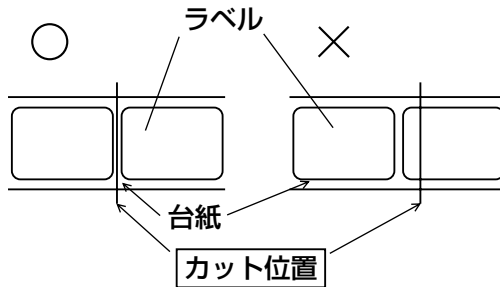
⚠ 注意

- カッタに手やものを入れないでください。ケガをするおそれがあります。
- 刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

カット位置の調整

▲ラベルのカット

ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間のカストリ部分（台紙のみの部分）が正規のカット位置となります。



▲カット位置の調整

カット位置が正規の位置にない場合、フロントカバーに添付してある、ボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して OFFSET 調整を行います。

ラベルの上をカットすると、糊がカタ刃に付いて切れを悪くしますので、絶対に避けてください。



以下の項目は本プリンタで使用できる用紙の仕様となりますので、使用する前にご確認ください。

①用紙厚さ（台紙含）は 0.08 ～ 0.26mm です。

②カット精度は ± 1.5mm です。

③カットユニットは、用紙長さ（台紙含）が 20 ～ 400mm まで有効です。

ただし、使用条件によってはカットサイズを制限する場合があります。

※調整用ボリュームを変更するときは、販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

▲ミシン目のある用紙のカット

ロール紙の場合、ミシン目の上から手前 1mm まではカット禁止領域（図 1）です。
またファンフォールド紙の折りミシン目から + 4 ~ + 25mm はカット禁止領域（図 2）です。
この部分でのカットは動作不良の原因となります。
ミシン目および折りミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするようにボリューム調整用ドライバのプラス側を使用してオフセット調整を行います。
※調整用ボリュームを変更するときは、販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

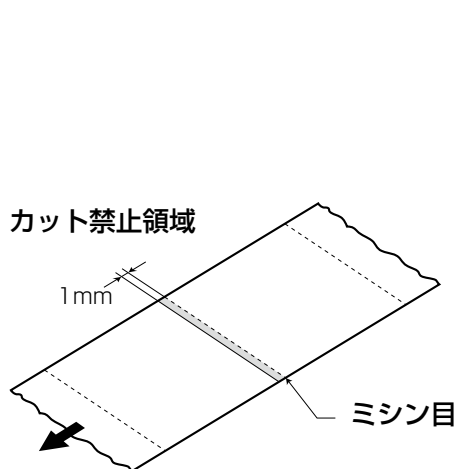


図 1 ロール紙の場合

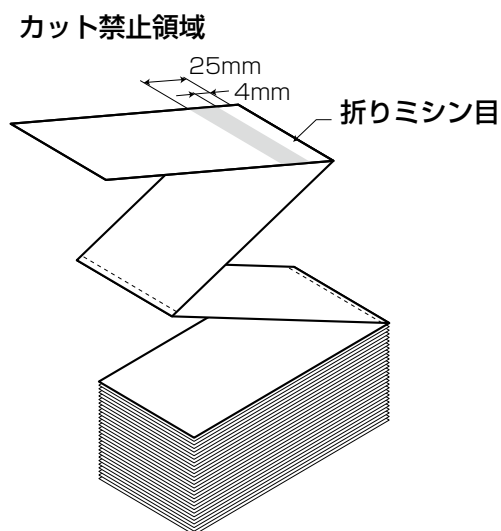
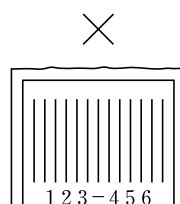
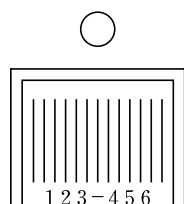


図 2 ファンフォールド紙の場合

カッタの交換

カッタを使用していきますと、磨耗により切れが悪くなり、カット面がケバ立ちます。
このような状態になりましたら、カッタユニットの交換が必要です。
その際は、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。



ハクリ仕様 (オプション)

▲用紙のセット

1

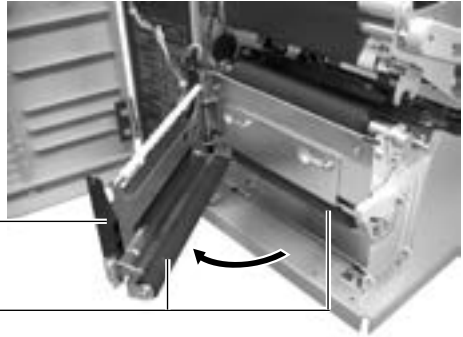
オープンカバーとフロントカバーを開きます。

2

ハクリユニットを開きます。

ハクリユニット

ローラー



3

カーボンリボンをセットします。
カーボンリボンのセットの2～5項参照 (21～22ページ)

4

用紙をセットします。
ロール紙のセットの3～6項参照 (14～16ページ)

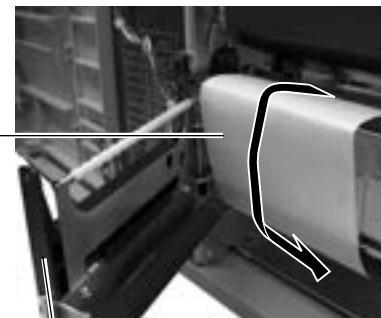
5

用紙先頭から約35cm分のラベルをはがします。

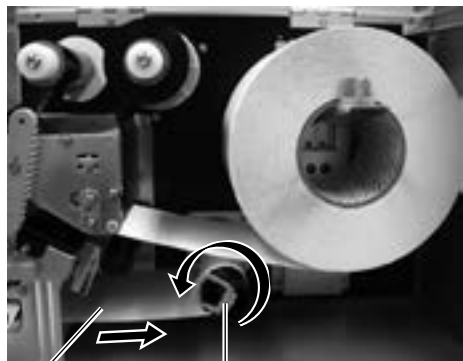
6

下図のように台紙を台紙巻取り部に巻きつけます。

台紙



ハクリユニット



台紙

台紙巻取り部

7

ヘッドロックレバーを回し、サーマルヘッドを閉じます。

8

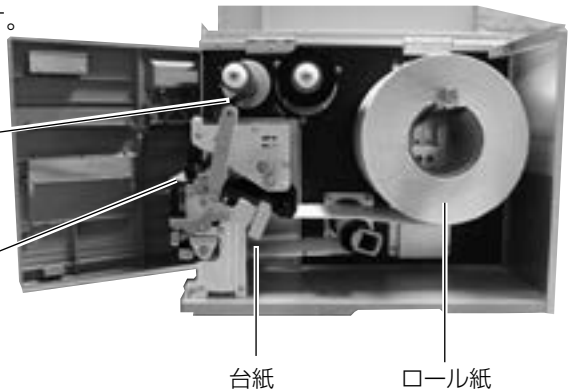
ハクリユニットを閉じます。

カーボンリボン

ラベル

台紙

ロール紙

**9**

フロントカバーとオープンカバーを閉めます。

! 注意

- カバーを閉めるときは、カバーに指をはさまないように注意して行ってください。

▲停止位置の調整

ハクリ時のラベル停止位置は、ラベルを 2 ～ 3mm 台紙に残す位置が正規の停止位置となります。ラベルの停止位置が規定の位置にない場合、フロントカバーに添付してある、ボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して OFFSET 調整を行います。

印字方向に対し前



印字方向に対し後



★注意事項

1. 台紙の厚さにより使用できない場合があります。
2. ハクリ時の印字精度は、V（縦）方向± 1.5mm、H（横）方向± 1.5mm です。
3. ハクリユニットは、ラベル長さ 17 ～ 397mm まで有効です。

ただし、使用条件によってラベルサイズを制限する場合があります。

※調整用ボリュームを変更するときは、販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

動かしてみましよう

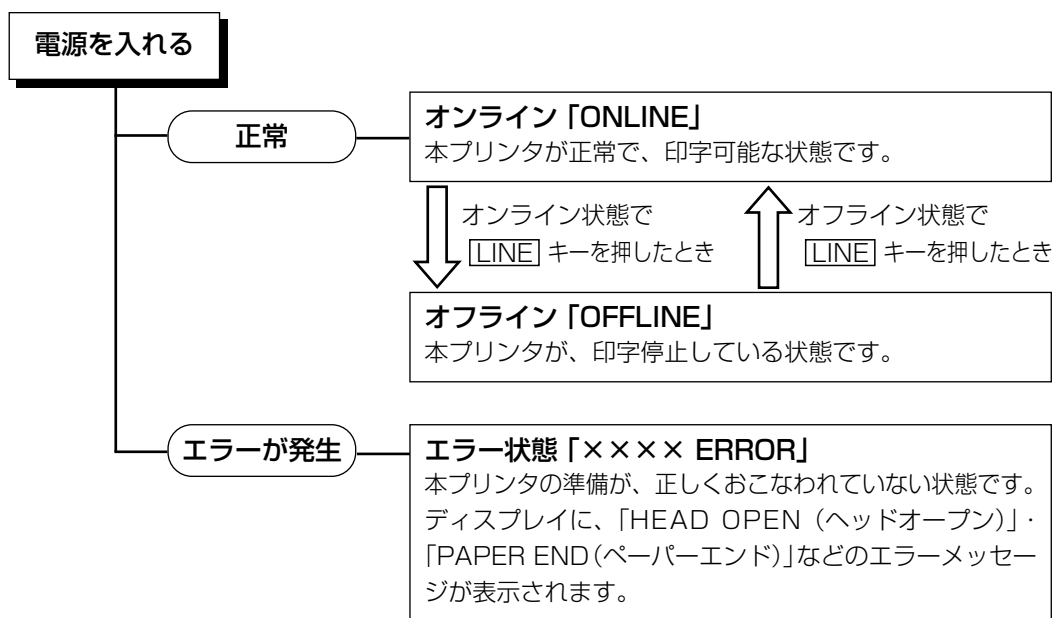
本プリンタを動かしてみましよう。本プリンタを動かすのに必要な操作のしかたや知識を覚えてください。

動かしてみる前に

本プリンタを本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。
本プリンタは、操作パネル上にある操作キーで、簡単に操作できます。
5つの状態から、いろいろな操作をおこないます。

▲ 操作の流れ

本プリンタはオンライン・オフライン・エラー・ユーザーモード・テストモードの5つの状態から操作をおこないます。
5つの状態と操作の流れをよく理解してください。



LINE キーを押し
ながら電源を入れる

ユーザーモード「USER MODE」

FEED キーを押して、印字濃度レンジ・印字濃度・印字速度・印字位置補正・ゼロスラッシュ切替・漢字コード切替・漢字書体切替・プロポーショナルピッチ設定・バックフィールド動作切替・ヘッドチェック範囲切替をおこないます。

FEED キーを押しながら **LINE** キーを押します

カードモード「CARD MODE」

拡張フラッシュ ROM の初期化をおこないます。

FEED キーを押しながら **LINE** キーを押します

アドバンスドモード「ADVANCED MODE」

FEED キーを押して、基本ドットサイズ設定・オートオンライン設定・初期フィード設定・オンラインフィード設定・セントロニクス ACK 信号出力設定・セントロニクス FAULT 信号出力設定・IEEE1284 通信設定・コマンドエラー表示設定をおこないます。

FEED キーを押し
ながら **LINE** キー
を押します

FEED キーを押し
ながら電源を入れる

テストモード状態「TEST PRINT MODE」

テスト印字をおこないます。

詳しい操作

本プリンタの詳しい操作のしかたを説明します。

オンライン操作

オンライン状態

本プリンタが正常な状態で、印字可能な状態です。
本プリンタがオンライン状態のとき、つぎの操作ができます。

- 本プリンタに接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートさせます。
- LINE** キーを押して、オフライン状態に切替えたり、印字を中断することができます。

```
ONLINE
      QTY:000000
```

オフライン操作

オフライン状態

本プリンタが印字停止している状態です。
本プリンタがオフライン状態のとき、つぎの操作ができます。

- LINE** キーを押して、オンライン状態に切替えます。
- FEED** キーを押して、用紙を 1 枚送ります。

```
OFFLINE
      000000
```

印字データキャンセル操作

本プリンタが印字動作中または、**LINE** キーを押して印字を中断しているとき、既に受信済みの印字データをすべてクリアする操作ができます。

- 印字動作中に **LINE** キーを押してオフライン状態に切替えます。
- LINE** キーと **FEED** キーを同時に押します。

- **LINE** キーを押して **YES**、**NO** を選択し、**FEED** キーを押します。
 - ・ **YES** は、受信済みの印字データをクリアし、つぎの画面に変わります。
 - ・ **NO** は、オンライン状態に戻ります。

印字データがクリアされると、ディスプレイに、右のように表示されます。
約 3 秒間表示後、オンライン状態に変わります。

```
CANCEL PRINT JOB
      YES      NO
```



```
CANCEL PRINT JOB
      COMPLETED
```

エラーモード操作

「あれ？どうしたのかな？」で説明します。→ 58 ページ

ユーザーモード設定操作

ユーザーモード設定操作のとき、プリンタの印字条件を設定できます。

- 「DARKNESS RANGE」(印字濃度レンジ設定)
- 「PRINT DARKNESS」(印字濃度設定)
- 「PRINT SPEED」(印字速度設定)
- 「OFFSET」(印字位置補正設定)
- 「ZERO SLASH」(ゼロスラッシュ切替設定)
- 「JIS CODE」(漢字コード切替設定)
- 「KANJI MODE」(漢字書体切替設定)
- 「PROPOTIONALPITCH」(プロポーションナルピッチ設定)
- 「BACKFEED SPEED」(バックフィード動作切替設定)
- 「HEAD CHECK」(ヘッドチェック範囲切替設定)

▲ユーザーモード設定画面の呼び出し

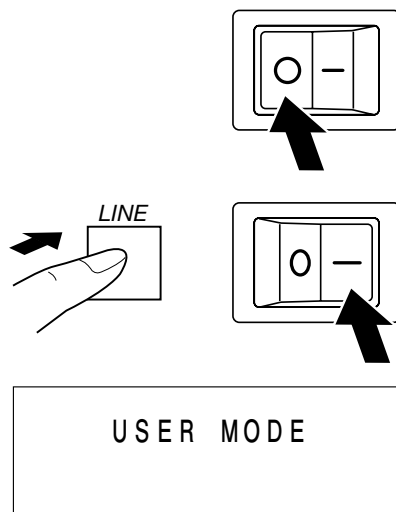
本プリンタの印字条件を設定するには、ユーザーモード設定画面を呼び出します。

まず、本プリンタの電源を切ります。

LINE キーを押しながら電源を入れます。

LINE キーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください。(ブザーが鳴ったらキーから指を離してください。)

ディスプレイに、右のように表示されます。



設定の登録

各印字条件を登録するためには、設定が終わった後、

FEED キーを 1 回押してください。

設定が登録され、つぎの設定画面が表示されます。

FEED キーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。

FEED キーを押しながら **LINE** キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

FEED キーを押すとディスプレイにつぎのように表示されます。





1 印字濃度レンジ設定

印字濃度レンジを設定します。
基本的には設定変更不要です。

- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、A～Fを選択します。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、Aになります。

DARKNESS RANGE					
A	B	C	D	E	F



2 印字濃度設定

印字の濃度（濃さ）を、5段階で設定できます。

- 1～5までの数字は、印字の濃度（濃さ）を表します。
1が一番薄く、5が一番濃くなります。
- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、1～5を選択します。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、3になります。（BF412Rの場合は、4になります。）

PRINT DARKNESS				
1	2	3	4	5



3 印字速度設定

印字の速度（速さ）を、5段階に設定できます。
用紙または印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、速度を下げてください

- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、2～6を選択します。
 - ・設定範囲は、2～6になります。
 - ・2（インチ/秒）が一番遅く、6（インチ/秒）が一番速くなります。
- **[FEED]** キーを押すと設定値が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、4（インチ/秒）になります。


PRINT SPEED					
2	3	4	5	6	



4 印字位置補正設定

印字位置補正とは、用紙に印字する位置を設定する操作です。

本プリンタには、最初から印字の基準となる位置（印字基準位置）が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置（基点）に印字するか設定します。本プリンタでは印字基準位置から印字したい位置までの距離を dot 単位で設定します。1 dot の長さは機種によって異なります。BF408R は 1 dot = 0.125mm、BF412R は 1 dot = 0.083mm です。

OFFSET
V: 000 H: +000

V：印字基準位置から、縦方向に何 dot 離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：印字方向に対し後

“-”：印字方向に対し前

H：印字基準位置から、横方向に何 dot 離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：プリンタ正面に向かって左側

“-”：プリンタ正面に向かって右側

初期値は、縦印字位置補正は 0dot、横印字位置補正は 0dot になります。

注意

- ヘッドの密度により設定可能な範囲がことなりますのでご注意ください。
- BF408R：V ± 000 ~ 400dot H ± 000 ~ 400dot
- BF412R：V ± 0000 ~ 1700dot H ± 000 ~ 400dot

① V (縦方向) の移動方向の設定

印字位置補正設定画面がディスプレイに表示されると、カーソルが、V (縦方向) の “+” にあり、白黒反転しています。

- **LINE** キーを 1 回押すたびに “+” と “-” に表示が切替ります。
- **FEED** キーを押すと、カーソルが移動します。

```
OFFSET
V: +000 H: +000
```

② V (縦方向) の移動 dot 数の設定

V (縦方向) の数字が白黒反転しています。

- **LINE** キーを 1 回押すたびに数字が 1 つ上がります。
- **FEED** キーを押すごとに、カーソルが V (縦方向) の十の位、一の位に移動します。
一の位の後に、**FEED** キーを押すと H (横方向) の “+” に移行します。

```
OFFSET
V: +000 H: +000
```

```
OFFSET
V: +000 H: +000
```

```
OFFSET
V: +000 H: +000
```

③ H (横方向) の移動方向の設定

H (横方向) の “+” が白黒反転しています。

- **LINE** キーを 1 回押すたびに “+” と “-” に表示が切替ります。
- **FEED** キーを押すと、カーソルが移動します。

```
OFFSET
V: +000 H: +000
```

④ H (横方向) の移動 dot 数の設定

H (横方向) の数字が白黒反転しています。

- **LINE** キーを 1 回押すたびに数字が 1 つ上がります。
- **FEED** キーを押すごとに、カーソルが H (横方向) の十の位、一の位に移動します。
一の位の後に、**FEED** キーを押すと、設定値が登録され、つぎの設定画面に変わります。

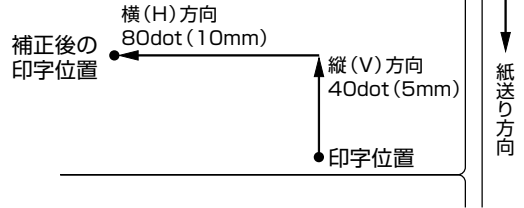
```
OFFSET
V: +000 H: +000
```

```
OFFSET
V: +000 H: +000
```

```
OFFSET
V: +000 H: +000
```

【印字位置補正の設定例】

BF408R で印字位置から
縦 (V) 方向に + 40dot (5mm)
横 (H) 方向に + 80dot (10mm)
離れた位置を補正後の印字位置とする設定例を示します。



ディスプレイに、印字位置補正設定画面が表示されていることを確認してください。

```
OFFSET
V:  H: 
```

[FEED] キーを押すとカーソルが移動し、[LINE] キーで “+”、“-”、“0～9” を設定します。カーソル位置が、H (横方向) の一の位にあるとき、[FEED] キーを押すと、ゼロスラッシュ切替設定画面に変わります。

```
OFFSET
V:  H: 
```

5 ゼロスラッシュ切替設定

ゼロ表示 (漢字は除く) を “0” または、“0” に設定できます。

- [LINE] キーでカーソルを移動し、[YES]、[NO] を選択します。
 - ・ [YES] は、“0” になります。
 - ・ [NO] は、“0” になります。
- [FEED] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、NO になります。

```
ZERO SLASH
YES 
```

6 漢字コード切替設定

取り扱う漢字コードを、JIS コード、シフト JIS コードに設定できます。


- [LINE] キーでカーソルを移動し、[JIS]、[SJIS] を選択します。
 - ・ [JIS] は、JIS コード指定になります。
 - ・ [SJIS] は、シフト JIS コード指定になります。
- [FEED] キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、JIS になります。

```
JIS CODE
 
```

7 漢字書体切替設定

印字する漢字の書体を明朝体、ゴシック体に設定できません。

- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、**[MINCHO]**、**[GOTHIC]** を選択します。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、GOTHIC になります。



KANJI MODE
MINCHO **GOTHIC**

8 プロポーションナルピッチ設定

プロポーションナルピッチ処理（各文字ごとの横幅で印字するかまたは文字幅を固定で印字するか）を設定することができます。

対象フォントは、×21～×24 となります。

- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、**[YES]**、**[NO]** を選択します。
 - ・ **[YES]** は、各文字ごとの横幅で印字します。
 - ・ **[NO]** は、文字幅固定で印字します。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、NO になります。



PROPOTIONALPITCH
YES **NO**

9 バックフィード動作切替設定

バックフィード動作を設定できます。

- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、**[NORMAL]**、**[SLOW]** を選択します。
 - ・ **[NORMAL]** は、従来のバックフィード動作を行います。
 - ・ **[SLOW]** は、バックフィード動作の加減速制御を行います。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。

ただし、本プリンタのディップスイッチ 2-3 が“OFF”（ヘッドチェック無効）の場合は、ユーザーモード設定画面（32 ページ）に戻ります。
- 初期値は、NORMAL になります。



BACKFEED SPEED
NORMAL SLOW



10 ヘッドチェック範囲切替設定

ヘッドチェックを行う範囲を設定します。

本画面は、プリンタ本体のディップスイッチ 2-3 が“ON”（ヘッドチェック有効）のときのみ表示されます。

HEAD CHECK
NORMAL BARCODE

- **LINE** キーでカーソルを移動し、**NORMAL**、**BARCODE** を選択します。
 - ・ **NORMAL** は、印字領域をチェックします。
 - ・ **BARCODE** は、バーコード印字領域のみをチェックします。バーコード印字領域に設定し、バーコードをグラフィックデータで印字した場合、ヘッドチェックされません。
- **FEED** キーを押すと設定が登録され、ユーザーモード設定画面（32 ページ）に変わります。
- 初期値は、NORMAL になります。

ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証するものではありません。

定期的読取りチェックをお願いします。

（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります。）

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキナ読取りを行って確認してください。

<ヘッドエラー発生時の対処方法>

①ヘッドチェック範囲設定が NORMAL の場合

- **FEED** キーを 5 秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。
 - ・ **NORMAL** を選択すると、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。
 - ・ **BARCODE** を選択すると、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切替えて発行を再開します。
- **LINE** キーと **FEED** キーを 5 秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

②ヘッドチェック範囲設定が BARCODE の場合

- **LINE** キーと **FEED** キーを 5 秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

これでユーザーモード設定操作による、プリンタ設定が終了しました。
ユーザーモード設定を終了するには、一度電源を切ってください。

アドバンスドモード操作

アドバンスドモード設定操作のとき、拡張条件を設定できます。

- 「HEAD DOT DENSITY」(基本ドットサイズ設定)
- 「AUTO ONLINE」(オートオンライン設定)
- 「INITIAL FEED」(初期フィード設定)
- 「ONLINE FEED」(オンラインフィード設定)
- 「CENTRONICS ACK SIGNAL」(セントロニクス ACK 信号出力設定)
- 「CENTRONICS FAULT SIGNAL」(セントロニクス FAULT 信号出力設定)
- 「IEEE1284 ACK SIGNAL」(IEEE1284 通信設定)
- 「COMMAND ERROR DISPLAY」(コマンドエラー表示設定)

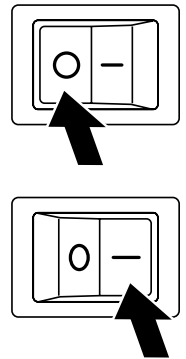
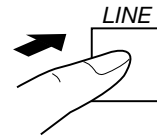
▲アドバンスドモード設定画面の呼び出し

本プリンタの拡張条件を設定するには、アドバンスドモード設定画面を呼び出します。

まず、本プリンタの電源を切ります。

[LINE] キーを押しながら電源を入れます。

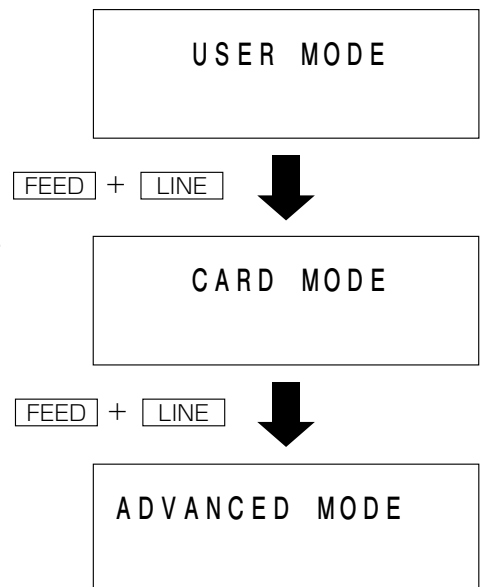
[LINE] キーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください。
(ブザーが鳴ったらキーから指を離してください。)



ディスプレイに、右のように表示されます。

[FEED] キーを押しながら [LINE] キーを押します。
ディスプレイに、右のように表示されます。

[FEED] キーを押しながら [LINE] キーを押します。
ディスプレイに、右のように表示されます。



設定の登録

拡張設定を登録するためには、設定が終わった後、 キーを 1 回押してください。

設定が登録され、つぎの設定画面が表示されます。



キーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。 キーを押しながら キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

キーを押すとディスプレイに下記のように表示されます。



1 基本ドットサイズ設定

基本ドットサイズを設定します。

本画面は、BF412R のときのみ表示されます。

- キーでカーソルを移動し、、 を選択します。
 - ・ は、1 dot (0.083mm) になります。
 - ・ は、1 dot (0.166mm) になります。
- キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、1DOT になります。

HEAD DOT DENSITY
 1DOT 2DOT



2 オートオンライン設定

電源投入時のプリンタの状態を設定します。

- キーでカーソルを移動し、、 を選択します。
 - ・ は、電源投入時にオンライン状態で起動します。
 - ・ は、電源投入時にオフライン状態で起動します。
- キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、YES になります。

AUTO ONLINE
 YES NO

3 初期フィード設定

起動後のオンライン時に自動で用紙フィードを行います。

- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、**[YES]**、**[NO]** を選択します。
 - ・ **[YES]** は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行います。
 - ・ **[NO]** は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行いません。ただし、つぎのオンラインフィード設定画面で、**[YES]** に設定した場合、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行います。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、NO になります。



INITIAL FEED
YES **NO**

4 オンラインフィード設定

エラー復旧後、または電源投入後、オンライン状態に遷移した際、自動で用紙フィードを行います。

- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、**[YES]**、**[NO]** を選択します。
 - ・ **[YES]** は、オンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行います。
 - ・ **[NO]** は、オンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行いません。ただし、前の初期フィード設定画面で、**[YES]** に設定した場合、電源投入時のオンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行います。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、NO になります。



ONLINE FEED
YES **NO**

5 セントロニクス ACK 信号出力設定

セントロニクスインタフェースの ACK 信号出力タイミングを設定します。

本画面は、セントロニクスインタフェースを接続したときのみ表示されます。

- **[LINE]** キーを押すたびに、**[ON]**、**[OFF]** が切替わります。
 - ・ **[ON]** は、BUSY 信号の終了時に出力します。
 - ・ **[OFF]** は、BUSY 信号の終了前に出力します。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、OFF になります。



CENTRONICS
ACK SIGNAL **OFF**

6 セントロニクス FAULT 信号出力設定

セントロニクスインタフェースの FAULT 信号出力タイミングを SELECT 信号と同期する動作にするか、非同期にするかを設定します。

本画面は、セントロニクスインタフェースを接続したときのみ表示されます。

- **[LINE]** キーを押すたびに、**[ON]** と **[OFF]** に表示が切替わります。
 - ・ **[ON]** は、SELECT 信号と同期します。
 - ・ **[OFF]** は、SELECT 信号と非同期になります。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、OFF になります。



```
CENTRONICS  
FAULT SIGNAL [OFF]
```

7 IEEE1284 通信設定

IEEE1284 通信の ACK 信号幅を設定します。

本画面は、IEEE1284 インタフェースを接続し、1 アイテム受信に設定したときのみ表示されます。

- **[LINE]** キーを押すごとに、設定値が 0.1 単位で増加します。
 - ・ 設定できる範囲は 00.5 から 10.0 までです。
 - ・ **[LINE]** キーを 1 回押すごとに、0.1 ずつ増加します。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、00.5 になります。



```
IEEE1284  
ACK SIGNAL 00.[5]
```

8 コマンドエラー表示設定

コマンドエラー表示の有効／無効を切替えます。

- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、**[YES]**、**[NO]** を選択します。
 - ・ **[YES]** は、コマンドエラー発生時にディスプレイ表示します。
 - ・ **[NO]** は、コマンドエラー発生時にディスプレイ表示しません。
- **[FEED]** キーを押すと設定が登録され、アドバンスドモード設定画面 (39 ページ) に変わります。
- 初期値は、NO になります。



```
COMMAND ERROR  
DISPLAY YES/[NO]
```

これでアドバンスドモード操作設定による、プリンタ設定が終了しました。
アドバンスドモード設定を終了するには、一度電源を切ってください。

カードモード操作

拡張フラッシュ ROM のフォーマットを行います。

▲カードモード設定画面の呼び出し

本プリンタのカードモード操作を行うには、カードモード設定画面を呼び出します。

まず、本プリンタの電源を切ります。

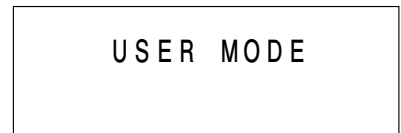
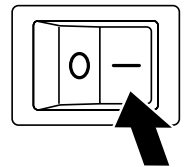
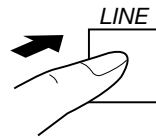
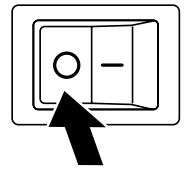
[LINE] キーを押しながら電源を入れます。

[LINE] キーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください。
(ブザーが鳴ったらキーから指を離してください。)

ディスプレイに、右のように表示されます。

[FEED] キーを押しながら **[LINE]** キーを押します。
ディスプレイに、右のように表示されます。

[FEED] キーを押すとディスプレイに右のように表示されます。



[FEED] + **[LINE]**



1 拡張フラッシュ ROM のフォーマット設定

拡張フラッシュ ROM を初期化します。

- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、**[YES]**、**[NO]** を選択し、**[FEED]** キーを押します。
 - ・ **[YES]** は、拡張フラッシュ ROM フォーマット開始確認画面に変わります。
 - ・ **[NO]** は、カードモード設定画面に戻ります。





2 拡張フラッシュ ROM フォーマット開始確認設定

拡張フラッシュ ROM のフォーマット開始確認画面です。

- **[LINE]** キーでカーソルを移動し、**[YES]**、**[NO]** を選択し、**[FEED]** キーを押します。
 - ・ **[YES]** は、フォーマットを開始して拡張フラッシュ ROM フォーマット中画面に変わります。
 - ・ **[NO]** は、「拡張フラッシュ ROM のフォーマット設定」画面に戻ります。

FORMAT START
YES **[NO]**



3 拡張フラッシュ ROM フォーマット中画面

拡張フラッシュ ROM の登録領域初期化中の画面です。初期化終了後、つぎの画面に変わります。

MEMORY FORMAT
FORMATTING



4 拡張フラッシュ ROM 初期化完了画面

拡張フラッシュ ROM の初期化が完了した際に表示します。

これで拡張フラッシュ ROM の初期化が終了しましたので、電源を切ってください。

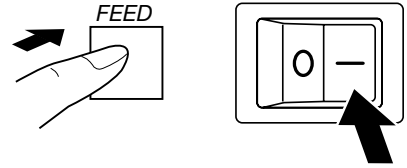
MEMORY FORMAT
COMPLETED

テスト印字モード操作

テスト印字をしてみましょう。

プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。

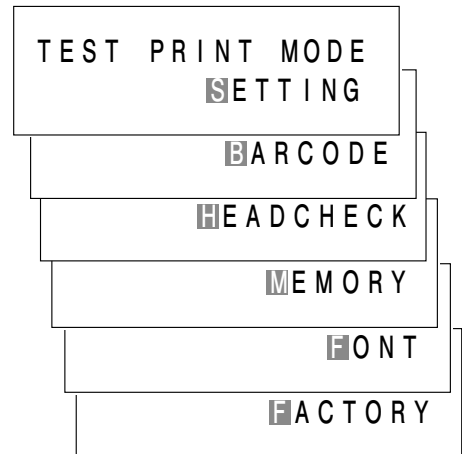
[FEED] キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイにつきのように表示されます。



1 テスト印字パターン選択

テスト印字パターンを選択します。

- [LINE] キーで画面を切替え、テスト印字パターンを選択します。
- [FEED] キーで設定値を保存して次の画面に変わります。
- 下の表のテスト印字を行います。



テスト印字パターン	印字内容	選択後の移動先
[SETTING]	本プリンタ設定内容を印字します。	テスト印字選択①
[BARCODE]	本プリンタに搭載しているバーコードを印字します。	
[HEADCHECK]	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。	
[MEMORY]	本プリンタに搭載しているメモリ内容を印字します。	テスト印字発行
[FONT]	本プリンタに搭載しているフォント内容を印字します。	
[FACTORY]	本プリンタの機器情報を印字します。	テスト印字選択②



2 テスト印字サイズ選択①

テスト印字の用紙サイズ幅を選択します。

本画面はテスト印字項目で [SETTING]、[BARCODE]、[HEADCHECK] を設定したときのみ表示されます。

- [LINE] キーで設定値を変更し、テスト印字サイズを設定します。
 - ・設定範囲は、“04” ~ “10” cm です。
- [FEED] キーを押すと、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、10cm になります。



3 テスト印字サイズ選択②

テスト印字の用紙サイズ幅を選択します。

本画面はテスト印字項目で「FACTORY」を設定したときのみ表示されます。



PRINT SIZE
SMALL LARGE

- 「LINE」キーでカーソルを移動し、「SMALL」、「LARGE」を選択します。
 - ・ 「SMALL」は、30mm 幅のラベルサイズで印字します。
 - ・ 「LARGE」は、104mm 幅のラベルサイズで印字します。
- 「FEED」キーを押すと、つぎの設定画面に変わります。
- 「LINE」キーを押すと「テスト印字パターン選択」に戻ります。

4 テスト印字発行

テスト印字を開始します。

- 「FEED」キーを押すと、テスト印字の発行を開始します。
- テスト印字発行中に「FEED」キーを押すと発行を一時停止します。
再度「FEED」キーを押すと発行を再スタートします。



USER TEST PRINT
PRESS FEED KEY

テスト印字モードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

❗ ご注意！

通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

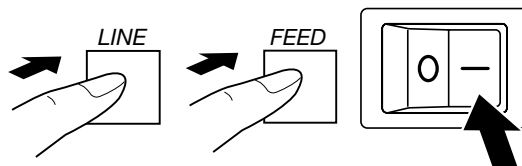
初期値とは、本プリンタがはじめから記憶している設定値です。

この初期値設定をおこなうと、いままでの印字条件の設定値を本プリンタが記憶している設定値に戻します。

プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。

[LINE] キーと [FEED] キーを同時に押しながら電源を入れます。

ディスプレイにつきのように表示されます。



1 初期化設定

プリンタの設定を初期化します。

- [LINE] キーでカーソルを移動し、[YES]、[NO] を選択します。
 - ・ [YES] は、プリンタ設定情報を初期化します。
 - ・ [NO] は、プリンタ設定情報を初期化しません。
- YES を選択して、[FEED] キーを押すと、つぎの画面に変わります。
- 初期値は、NO になります。

DEFAULT SETTING
YES NO

2 初期化完了画面

プリンタ設定初期化完了画面です。

デフォルト設定モードを終了するにはプリンタの電源を切ってください。

DEFAULT SETTING
COMPLETED

初期値一覧

印字濃度レンジ設定、印字濃度設定、印字速度設定、印字位置補正設定、ゼロスラッシュ切替設定、漢字コード切替設定、漢字書体切替設定、プロポーショナルピッチ設定、バックフィード動作切替設定、ヘッドチェック範囲切替設定、オートオンライン設定、初期フィード設定、オンラインフィード設定の各設定値が下記の初期値に戻ります。

項 目	BF408R	BF412R
印字濃度レンジ設定	A	
印字濃度設定	3	4
印字速度設定	4 インチ/秒	
印字位置補正設定	V : +000 H:+000	V : +0000 H:+000
ゼロスラッシュ切替設定	NO	
漢字コード切替設定	JIS	
漢字書体切替設定	GOTHIC	
プロポーショナルピッチ設定	NO	
バックフィード動作切替設定	NORMAL	
ヘッドチェック範囲切替設定	NORMAL	
オートオンライン設定	YES	
初期フィード設定	NO	
オンラインフィード設定	NO	

ディップスイッチによる設定

フロントカバーを開けた操作部の下にあるディップスイッチは、プリンタの動作を決める重要なスイッチです。

間違えて設定しますとプリンタは、正常に動作しません。

プリンタの動作を十分理解した上で、設定してください。

電源を切っていることを確認してください。

フロントカバーを開けます。

ディップスイッチ表により設定したい条件にディップスイッチを設定します。

フロントカバーを閉めます。

ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。

注意

- カバーの開閉には、指をはさまないように注意してください。
- 詳しくは、販売店またはディーラーへお問い合わせください。

スキャントロニクス BF400R シリーズ プリンタ ディップスイッチ表 [DSW2]		
NO	機 能	説 明
1	印字方式設定	ON : 感熱方式 OFF : 熱転写方式 (初期値)
2	用紙センサ設定	ON : ギャップセンサ (透過タイプ) OFF : アイマークセンサ (反射タイプ) (初期値)
3	ヘッドチェック	ON : 有効 (初期値) OFF : 無効
4	HEX ダンプモード	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)
5	受信モード	ON : 1 アイテム受信 OFF : マルチ受信 (初期値) ※ LAN の場合は、ON ⇒ ENQ 応答ステータス (初期値) OFF ⇒ 周期応答ステータス
6	ダウンロードモード	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)
7	工場設定用	通常 OFF (変更しないでください。)
8	通信プロトコル	ON : ステータス 3 注) DSW2-5 ON にして使用してください。 OFF : ステータス 4 (初期値) ※ RS-232C、LAN のみ有効

※ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安でバーコード読取りを保証する機能ではありません。

定期的に読取チェックをお願いします。(印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります。)

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキナ読取りを行って確認してください。

スキャントロニクス BF400R シリーズ プリンタ ディップスイッチ表 [DSW3]

NO	機 能	説 明									
		1	2	3	4	用紙 センサ	モード	動作	バックフィード	バックフィード 動作	
1	動作モード設定 (連続・ティアオフ・ カッタ・ハクリ)	OFF	OFF	OFF	OFF	有効	連続				
		ON	OFF	OFF	OFF	有効	ティアオフ				
		OFF	ON	OFF	OFF	有効	ハクリ	センサ	無し		
		ON	ON	OFF	OFF	有効	ハクリ	センサ	有り		動作 1
		OFF	OFF	ON	OFF	有効	ハクリ	パルス	無し		
		ON	OFF	ON	OFF	有効	ハクリ	パルス	有り		動作 1
		OFF	ON	ON	OFF	有効	ハクリ	パルス	有り		動作 2
		ON	ON	ON	OFF	有効	カッタ	シートエンド	無し		
3		OFF	OFF	OFF	ON	有効	カッタ	シートエンド	有り		動作 1
		ON	OFF	OFF	ON	有効	カッタ	シートエンド	有り		動作 2
		OFF	ON	OFF	ON	無効	連続				
		ON	ON	OFF	ON	無効	カッタ	シートエンド	無し		
4		OFF	OFF	ON	ON	無効	カッタ	シートエンド	有り		動作 1
		ON	OFF	ON	ON	有効	カッタ	パルス	有り		動作 1
		OFF	ON	ON	ON	有効	カッタ	パルス	有り		動作 2
5	未使用	ON	ON	ON	ON	無効	カッタ	パルス	有り		動作 1
6	外部信号切替	ON - ON : TYPE I									
7		ON - OFF : TYPE II									
		OFF - ON : TYPE III									
		OFF - OFF : TYPE IV (初期値)									
8	外部信号再発行	ON : 有効 OFF : 無効 (初期値)									

※通常は、網かけのしてある部分のみ指定してください。

「シートエンド」 印字動作、ラベルフィード動作後にラベルをカットします。

「パルス」 本プリンタの後部にある「EXT (外部信号)」を使用して動作を行ないます。

「動作 1」 印字動作後にヘッド位置までバックフィードする動作です。

「動作 2」 印字動作前に停止位置からヘッド位置までバックフィードして印字を行う動作です。

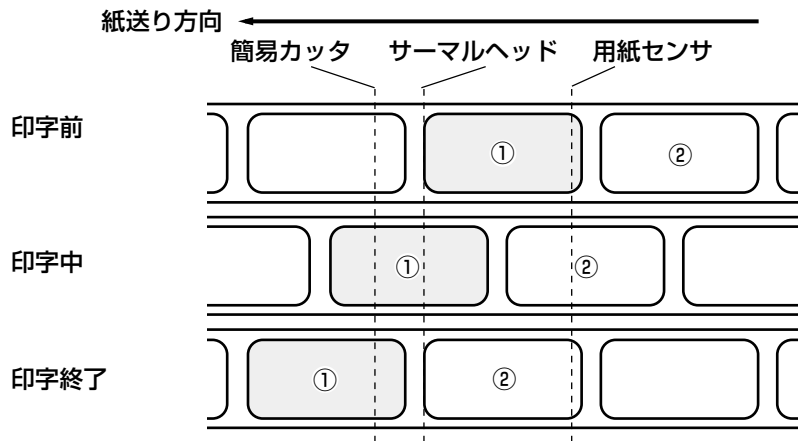
※詳細については、販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、オプション（カッタやハクリ）を使用しない動作モードとして、連続印字動作とティアオフ動作があります。

連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後、または、1枚フィードのときには、次の印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。

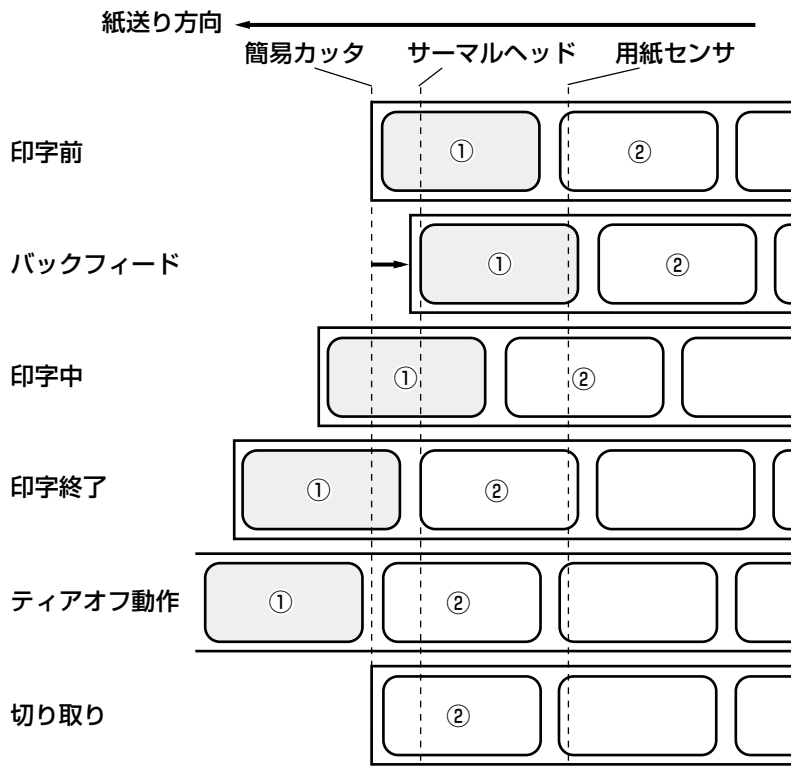


ティアオフ動作モード

ティアオフ動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間（台紙部）を簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。

この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切り取ることができます。

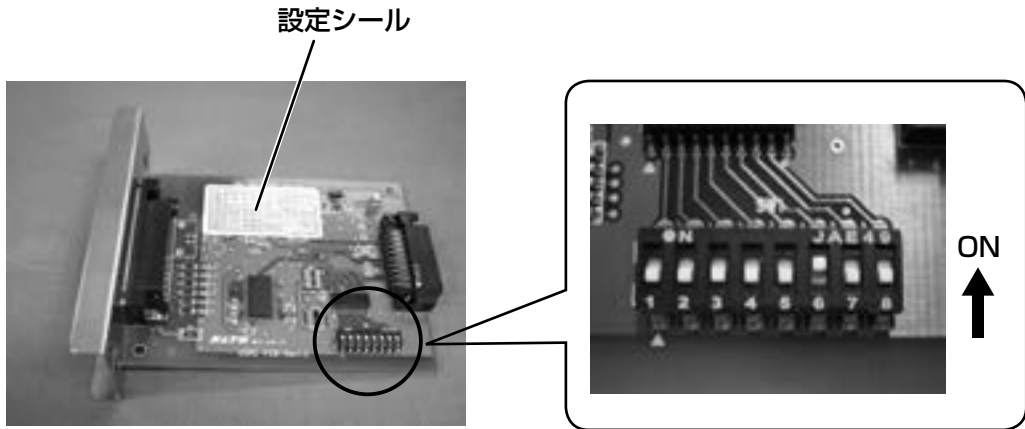
また、次の印字を行なう時には、用紙の先端がサーマルヘッド位置までもどり、印字を開始します。



インタフェースボードの設定

シリアルインタフェースボード (RS-232C) の設定

シリアルインタフェースボード (オプション) には、通信条件を決めるディップスイッチがあります。ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、② RS-232C ケーブルを取外し、③シリアルインタフェースボード (オプション) の取り付けネジを 2 本取外し、④シリアルインタフェースボード (オプション) を取外してから行ってください。



スキヤントロニクス BF400R シリーズ シリアルインタフェースボード ディップスイッチ表		
NO	機能	説明
1	データ長設定	ON : 7 ビット OFF : 8 ビット (初期値)
2 3	パリティビット設定	OFF - OFF : 無し (初期値) OFF - ON : 偶数 ON - OFF : 奇数 ON - ON : 未使用
4	ストップビット設定	ON : 2 ビット OFF : 1 ビット (初期値)
5 6	ボーレート設定	OFF - OFF : 9600 bps OFF - ON : 19200 bps (初期値) ON - OFF : 38400 bps ON - ON : 57600 bps
7 8	通信プロトコル設定	OFF - OFF : READY/BUSY (初期値) OFF - ON : XON/XOFF ON - OFF : ステータス 4 (DSW2-8 OFF) ステータス 3 (DSW2-8 ON) ON - ON : 未使用

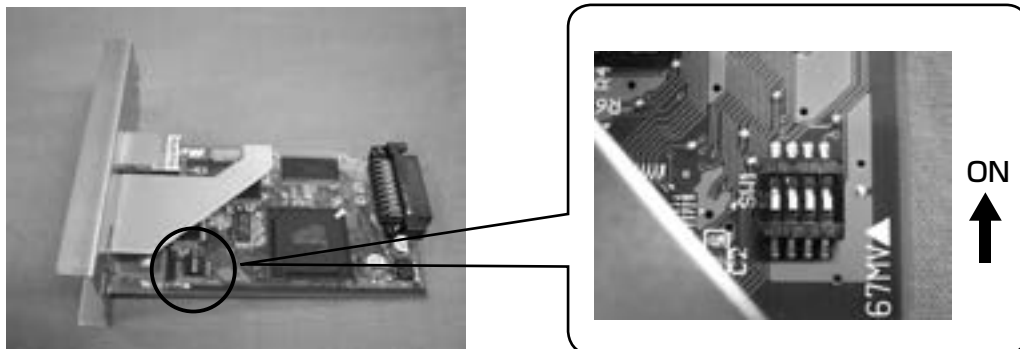
⚠ 注意

- インタフェースボードの取付け、取外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。

LAN インタフェースボードの設定

LAN インタフェースボード（オプション）には、LAN 設定情報初期化、LAN 設定情報印字、自己診断印字するディップスイッチがあります。

ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、② LAN ケーブルを取外し、③ LAN インタフェースボード（オプション）の取り付けネジを 2 本取外し、④ LAN インタフェースボード（オプション）を取外してから行ってください。



スキャントロニクス BF400R シリーズ LAN インタフェースボード ディップスイッチ表		
NO	機 能	説 明
1	未使用	OFF：（初期値）
2	LAN インタフェースボード設定情報初期化	ON：初期化します
		OFF：初期化しません（初期値）
3	LAN インタフェースボード設定情報印字 （IP アドレスなどの設定情報を印字します）	ON：印字します
		OFF：印字しません（初期値）
4	LAN インタフェースボード自己診断印字 （診断結果を印字します）	ON：印字します
		OFF：印字しません（初期値）

※通常使用時は、全て OFF に設定してください。

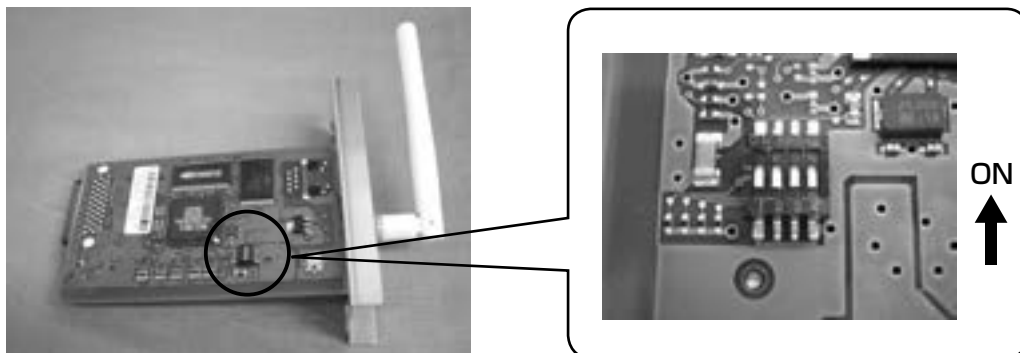
⚠ 注意

- インタフェースボードの取付け、取外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。

無線 LAN インタフェースボードの設定

無線 LAN インタフェースボード（オプション）には、LAN/ 無線 LAN 設定情報初期化、LAN/ 無線 LAN 設定情報印字、自己診断印字、通信モードを設定するディップスイッチがあります。

ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、② LAN ケーブルを接続している場合は LAN ケーブルを取外し、③無線 LAN インタフェースボード（オプション）の取り付けネジを 2 本取外し、④無線 LAN インタフェースボード（オプション）を取外してから行ってください。



スキャントロニクス BF400R シリーズ 無線 LAN インタフェースボード ディップスイッチ表		
NO	機 能	説 明
1	未使用	OFF：(初期値)
2	無線 LAN インタフェースボード設定情報初期化	ON：初期化します
		OFF：初期化しません (初期値)
3	無線 LAN インタフェースボード設定情報印字 (IP アドレスなどの設定情報を印字します)	ON：印字します
		OFF：印字しません (初期値)
4	無線 LAN モード設定	ON：Infrastructure モード
		OFF：Ad Hoc モード (初期値)

※ LAN ケーブルを接続して電源を投入すると、LAN インタフェースで起動します。

※ LAN ケーブルを接続せずに電源を投入すると、無線 LAN インタフェースで起動します。

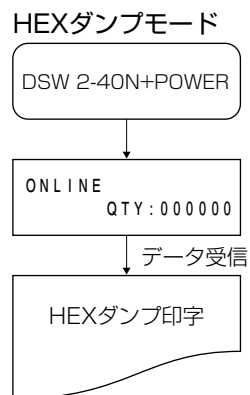
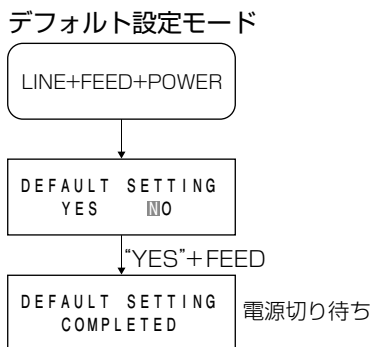
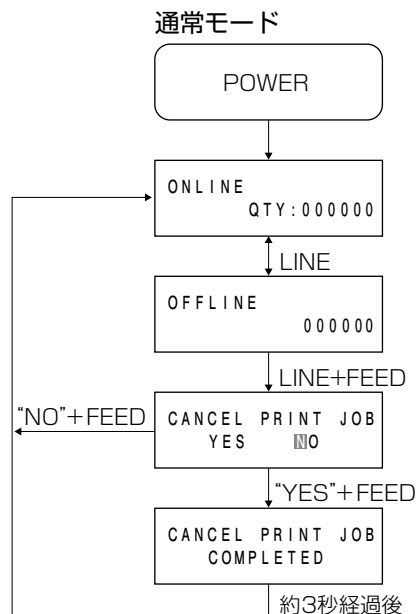
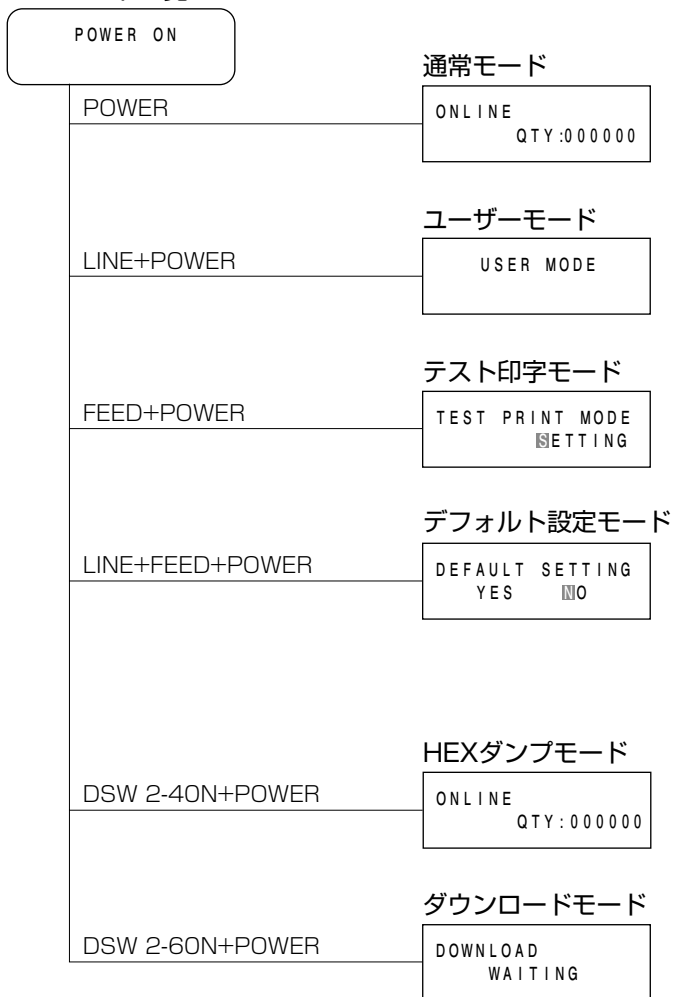
※通常使用時、1～3 は OFF に設定してください

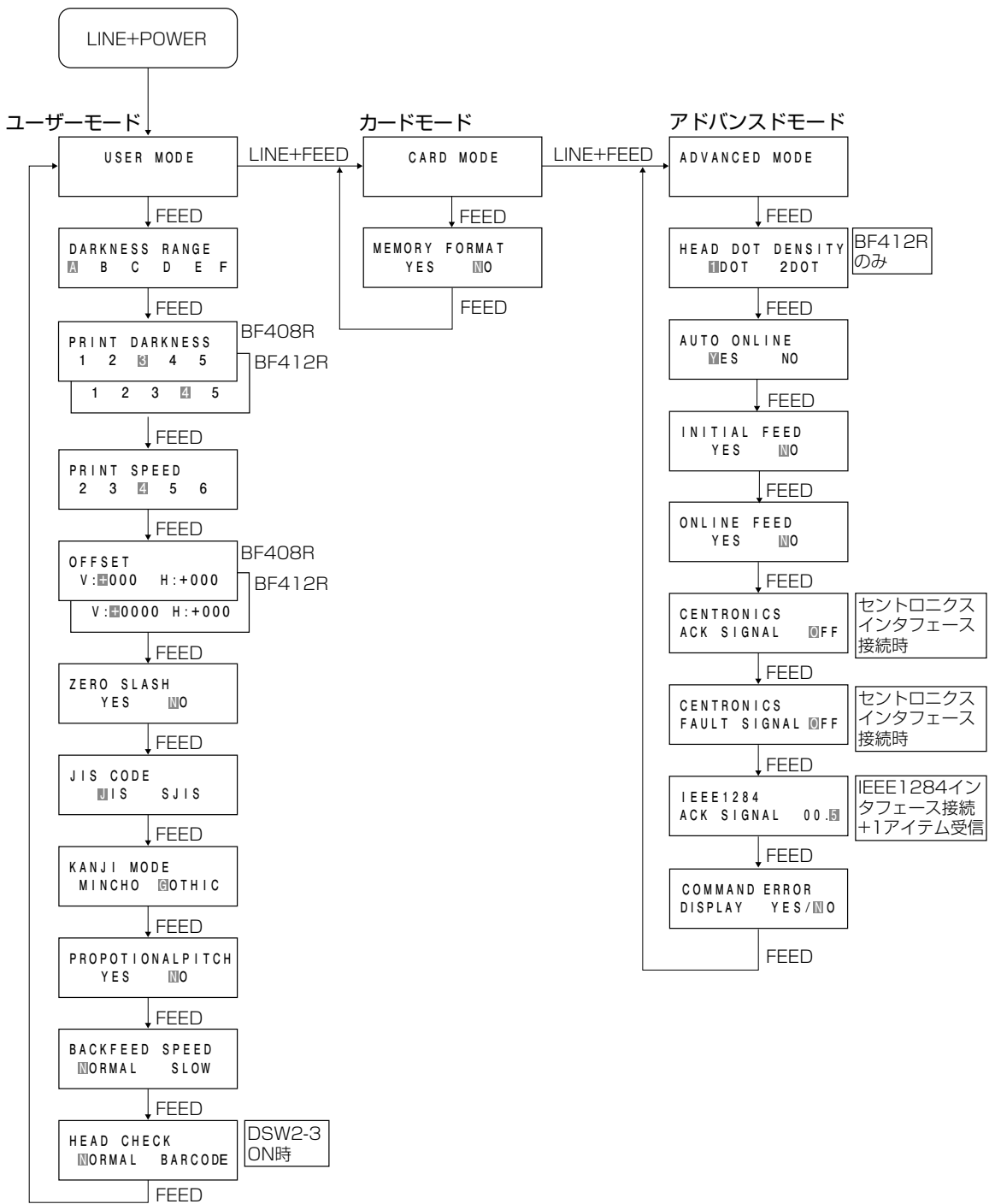
⚠ 注意

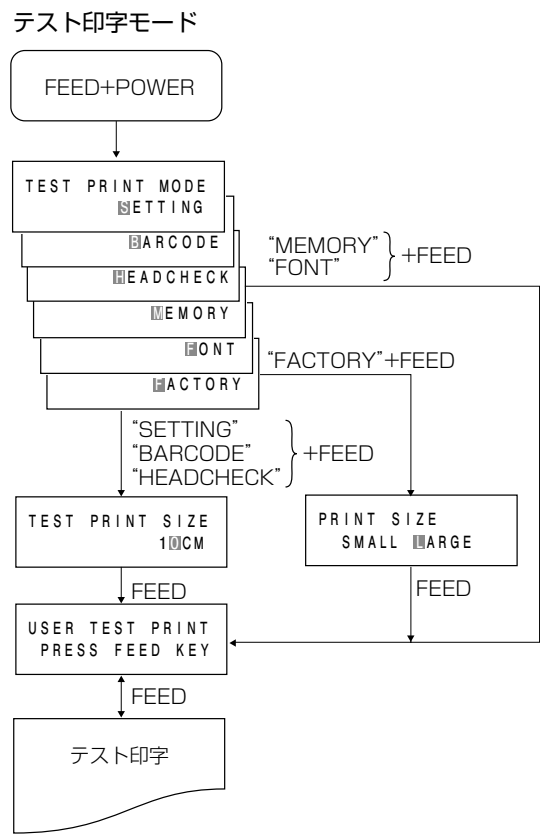
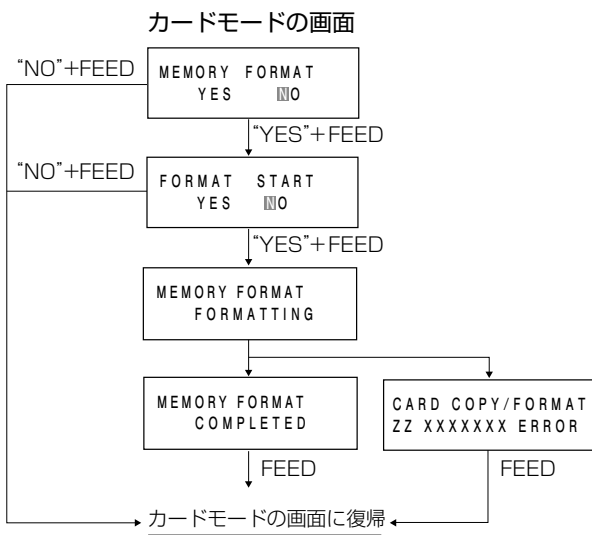
- インタフェースボードの取付け、取外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。

ディスプレイ画面遷移図

LCDモード一覧







あれ？どうしたのかな？

ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本プリンタはエラー状態になります。こんなとき、どうしたらよいか説明します。また、本プリンタの操作をしていてうまくいかなかったときはこの章をお読みください。

▲ エラーメッセージがでたけれど

ディスプレイにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。こんなときどうしたらよいか説明します。

また、プリンタを操作していて、うまくいかないときもこの章をお読みください。

エラー番号	LCD画面	説明
01	MACHINE ERROR 01	マシンエラーの画面です。 原因：①基板の不良です。 対策：①販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー
02	EEPROM ERROR 02	EEPROMエラーの画面です。 原因：①EEPROMが初期化されていません。 ②EEPROMが正しく装着されていません。 ③EEPROMの書き込み回数がオーバーしています。 対策：①②③販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー
03	PARITY ERROR 03	パリティエラーの画面です。 原因：①RS-232Cの通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が正しくありません。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
04	OVERRUN ERROR 04	オーバーランエラーの画面です。 原因：①RS-232Cの通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が正しくありません。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー

エラー 番号	LCD 画面	説 明
05	FRAMING ERROR 05	<p>フレーミングエラーの画面です。</p> <p>原 因：① RS-232C の通信条件が合っていません。 ② ケーブルの接続が正しくありません。</p> <p>対 策：① 通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ② ケーブルの接続を確認してください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
06	BUFFER OVER 06	<p>バッファオーバーの画面です。</p> <p>原 因：① 受信バッファ容量を超えるデータを受信しました。 ② 通信プロトコルが合っていません。</p> <p>対 策：① 受信バッファを超えないようにシステムを修正してください。 ② 通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
07	HEAD OPEN 07	<p>ヘッドオープンの画面です。</p> <p>原 因：① ヘッド部がロックされていません。 ② ヘッド開閉検知用マイクロスイッチの異常です。</p> <p>対 策：① ヘッド部をロックしてください。 ② 販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
08	PAPER END 08	<p>ペーパーエンドの画面です。</p> <p>原 因：① 用紙がありません。 ② 用紙が正しくセットされていません。 ③ 用紙センサのレベルが合っていません。</p> <p>対 策：①② 用紙を正しくセットしてください。 ③ 販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
09	RIBBON END 09	<p>リボンエンドの画面です。</p> <p>原 因：① リボンがありません。 ② リボンが切れています。 ③ リボンスロットセンサのレベルが合っていません。</p> <p>対 策：①② リボンを正しくセットしてください。 ③ 販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー 番号	LCD 画面	説 明
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> SENSOR ERROR 10 </div>	<p>センサエラーの画面です。</p> <p>原 因：①用紙センサのレベルが合っていません。 ②センサ種の設定が合っていません。 ③用紙蛇行（用紙位置のセットが正しくありません）</p> <p>対 策：①販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。 ②用紙に合ったセンサを使用してください。 ③用紙を正しくセットしてください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
11	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> HEAD ERROR 11 </div>	<p>ヘッドエラーの画面です。</p> <p>原 因：①ヘッドに異常があります。</p> <p>対 策：①販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。</p> <p>警 告 音：長音 1 回 外部信号：マシンエラー</p>
12	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> COVER OPEN 12 </div>	<p>カバーオープンの画面です。</p> <p>原 因：①フロントカバーが開いています。</p> <p>対 策：①フロントカバーを閉じてください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
13	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> CARD R/W ERROR 13 </div>	<p>カードリード/ライトエラーの画面です。</p> <p>原 因：①拡張フラッシュ ROM が挿入されていません。 ②登録されていない番号で呼出しを行いました。 ③拡張フラッシュ ROM のフォーマットがされていません。</p> <p>対 策：①拡張フラッシュ ROM を挿入してください。 ②呼出し番号を確認してください。 ③拡張フラッシュ ROM をフォーマットしてください。</p> <p>警 告 音：長音 1 回 外部信号：マシンエラー</p>
15	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> CUTTER ERROR 15 </div>	<p>カッタエラーの画面です。</p> <p>原 因：①カッタ部で用紙詰まりが発生しています。 ②カッタ部が正しく動作していません。</p> <p>対 策：①カッタ部の清掃をしてください。 ②販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー 番号	LCD 画面	説 明
16	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DOWNLOAD ERROR 16 R/W ERROR </div>	<p>プログラム/フォントダウンロードエラーの画面です。</p> <p>原 因：①ダウンロード中にリード/ライトエラーが発生しました。</p> <p>対 策：①ダウンロードデータを確認してください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回</p> <p>外部信号：出力しない</p>
17	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DOWNLOAD ERROR 17 NOTAREA ERROR </div>	<p>プログラム/フォントダウンロードエラーの画面です。</p> <p>原 因：①ダウンロード領域がありません。</p> <p>対 策：①ダウンロードデータサイズを確認してください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回</p> <p>外部信号：出力しない</p>
20	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> CARD COPY/FORMAT 20 NOTAREA ERROR </div>	<p>カードコピー/フォーマットエラーの画面です。</p> <p>原 因：①コピー領域がありません。</p> <p>対 策：①コピー領域を確認してください。</p> <p>警 告 音：長音 1 回</p> <p>外部信号：出力しない</p>
21	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> KANJI ROM ERROR 21 </div>	<p>漢字 ROM エラーの画面です。</p> <p>原 因：①メモリ基板の不良です。</p> <p>対 策：①販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回</p> <p>外部信号：出力しない</p>
—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DOWNLOAD ERROR I/F NOT SUPPORT </div>	<p>インタフェースカードエラーの画面です。</p> <p>原 因：①インタフェース基板が正しく装着されていません。</p> <p>対 策：①インタフェース基板を正しく装着してください。</p> <p>警 告 音：なし</p> <p>外部信号：出力しない</p>
—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DOWNLOAD ERROR DATA ERROR </div>	<p>データエラーの画面です。</p> <p>原 因：①通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続が正しくありません。 ③データチェック結果が正しくありません。</p> <p>対 策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 ③通信データを確認してください。</p> <p>警 告 音：長音 1 回</p> <p>外部信号：出力しない</p>

エラー 番号	LCD 画面	説 明
—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DOWNLOAD ERROR WRITE ERROR </div>	<p>データ書き込みエラーの画面です。</p> <p>原 因：①プログラムの書き込みができませんでした。</p> <p>対 策：①プログラムデータを確認し、再度ダウンロードを行います。 それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、または お客さまヘルプデスクにお問い合わせください。</p> <p>警 告 音：長音 1 回 外部信号：出力しない</p>

▲ あれ？メッセージが無いのに STATUS LED が…

エラーメッセージが無いのに STATUS LED が点滅する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○ STATUS LED が緑で点滅

メッセージの意味

要 因：受信データを多く受信したため、受信バッファが残り少なくなっています。

対応方法：このまま使用しても構いません。

プリンタの内部処理が進み、受信データが少なくなると自動的に消えます。

▲ あれ？メッセージが無いのにブザー音が…

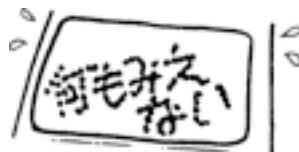
コマンド記述の誤りまたは印字領域指定が誤っています。


対応方法：プログラムを見直してください。

▲ こんなときは？

本プリンタの操作をしてもうまくいかなかったときは、つぎのことを確認してみてください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない。




	【確認してください】	【直し方】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本プリンタに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	電源コードがいたんでいませんか？	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本プリンタを購入された販売店・ディーラーで必ず本プリンタ専用の電源コードをお求めください。本プリンタ専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
4	本体のヒューズが切れていませんか？	本体背面にあるヒューズを確認してください。ヒューズが切れていたら、市販の同等のヒューズと交換してください。交換後、再度切れた場合は、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
5	本プリンタの電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。 
6	建物の電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。

⚠ 注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作やヒューズの交換、電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- ヒューズを交換するときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

紙送りはするけど印字されない

	【確認してください】	【直しかた】
1	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	<p>サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニングペンで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります)。</p> <p>このとき、ラベルの糊がサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*でふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→ 69 ページ</p> 
2	本プリンタ用の用紙・カーボンリボンを使っていますか？	サトー製プリンタには、弊社指定のサプライのご使用をお願いします。
3	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→ 69 ページ

*プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はお客さまヘルプデスク、販売店へお問い合わせください。

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

きれいに印字しない



	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンがきちんと固定されているか調べてください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙が正常な位置にとどまっているか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニングペンで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります)。このとき、ラベルの糊がサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*でふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→ 69 ページ
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本プリンタ用の用紙・カーボンリボンを使っていますか？	サトー製プリンタには、弊社指定のサプライのご使用をお願いします。



*プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はお客様ヘルプデスク、販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

印字位置がずれる

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンをきちんと固定してください。 また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にとどまるようにセットしなおしてください。
2	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。
3	型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていますか？	用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。
4	本プリンタ用の用紙・カーボンリボンを使っていますか？	サトー製プリンタには、弊社指定のサプライのご使用をお願いします。
5	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→69ページ
6	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。
7	ピッチ補正（ボリューム）または、基点補正（ユーザーモード設定）の内容がおかしくありませんか？	ピッチ補正（ボリューム）または、基点補正（ユーザーモード設定）の内容を設定し直してください。

*プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はお客さまヘルプデスク、販売店へお問い合わせください。

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

オプションについて

本プリンタではお客様のニーズにお応えできるように、つぎのオプションを用意しております。

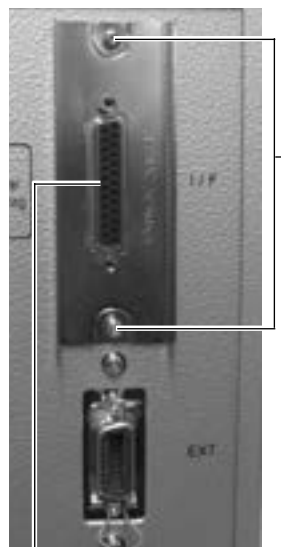
オプションの種類

▲ インタフェースボード

プリンタとコンピュータとのデータをやり取りするためのボードです。

- パラレルインタフェースボード (IEEE1284)
(オプション)
- シリアルインタフェースボード (RS-232C)
(オプション)
- USB インタフェースボード
(オプション)
- LAN インタフェースボード
(オプション)
- 無線 LAN インタフェースボード
(オプション)

※ご不明な点がございましたら、購入された販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。



インタフェースボード

取付ネジ

⚠ 注意

- インタフェースボードの取付け、取外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。

▲ カッタ仕様 (オプション)

用紙を1枚1枚カットするカッタユニットをプリンタに取付けたタイプです。

▲ ハクリ仕様 (オプション)

ラベルと台紙をはがすハクリユニットをプリンタに取付けたタイプです。

毎日のお手入れ

本プリンタは大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。クリーニングペン、プリンタクリーニングセット*、ラッピングシート* を使って定期的に清掃してください。

⚠ 警告

◆感電防止

サーマルヘッドやプラテンローラーを清掃するときは、必ず電源を切ってください。
感電するおそれがあります。

▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安は次の通りです。

プリンタクリーニングセット* でのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラー、用紙センサ、ラベルガイド) …用紙 1 巻おき、あるいは用紙 150 メートル印字ごと
- その他…用紙 6 巻おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

ラッピングシート* でのお手入れ

- 用紙 6 巻おき、あるいは 900 メートル印字ごと

▲お手入れのときの注意

- 上の清掃時期を目安に清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*、ラッピングシート* をご使用ください。
- ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特に、サーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってから行ってください。
- 用紙・カーボンリボン は 取外してから清掃を行ってください。

▲お手入れのしかた (1)

- クリーニングペンやプリンタクリーニングセット* を使って、次の部分を清掃してください。

サーマルヘッド部

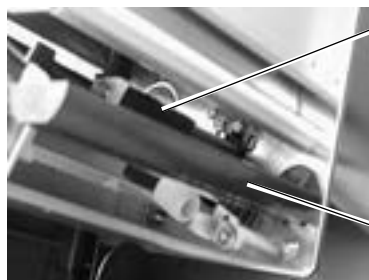
サーマルヘッド



プラテンローラー

センサとガイド

用紙センサ



ラベルガイド

* プリンタクリーニングセットとラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、お客さまヘルプデスク、販売店へお問い合わせください。

- ① オープンカバー・フロントカバー・サーマルヘッド部を開け、ラベル・カーボンリボンを取外し、サーマルヘッド部分を見えるようにします。
- ② クリーニングペンで、サーマルヘッドの汚れを拭き取ります。
- ③ プリント清掃液を綿布に浸して、プラテンローラー、ラベルガイド、用紙センサの汚れを拭き取ります。

サーマルヘッドのクリーニング



サーマルヘッド

プラテンローラーのクリーニング



プラテンローラー

▲ お手入れのしかた (2)

ラッピングシート*を使って次の部分をクリーニングしてください。

ラッピングシート*は、ザラザラしている面がサーマルヘッド側になるように挟んでください。

- ① オープンカバー・フロントカバー・サーマルヘッド部を開け、ラベル・カーボンリボンを取外します。
- ② ラッピングシート*をサーマルヘッドとプラテンローラーの間に挟み、サーマルヘッド部を閉じます。
- ③ 両手でラッピングシート*を手前に引きます。
これを2～3回繰り返してください。
これでサーマルヘッドの付着カスは除去されます。まだカスが残っている時は、さらに数回繰り返してください。
- ④ サーマルヘッドをクリーニングペンでクリーニングし、ヘッド面をきれいにしてください。

サーマルヘッドのクリーニング



* ラッピングシートはオプションです。ご購入の際はお客さまヘルプデスク、販売店へお問い合わせください。

基本仕様

モデル名	スキャントロニクス BF408R	スキャントロニクス BF412R
印字方式	感熱方式／熱転写方式 兼用	
ヘッド密度 (解像度)	8dot/mm(203dpi)	12dot/mm(305dpi)
印字有効エリア	最大 長さ 400mm × 幅 104mm	
	EX コマンド時 長さ 1249mm (内部メモリにて拡張)	EX コマンド時 長さ 833mm (内部メモリにて拡張)
印字速度	50～150mm/秒 2～6 インチ/秒 ※但し、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては制限する場合があります。	
印字禁止領域	長さ方向 上:1.5mm以下、下:1.5mm以下(台紙含まず) 幅方向 左:1.5mm以下、右:1.5mm以下(台紙含まず)	
用紙種類／用紙形態	弊社指定の用紙のご使用をお願いします。/ロール紙、ファンフォールド紙	
用紙厚	80～260 μm (0.08～0.26mm)	
用紙サイズ	標準 長さ 6～397mm (9～400mm) 幅 22～128mm (25～131mm) ティアオフ 長さ 17～397mm (20～400mm) 幅 22～128mm (25～131mm) ハクリ 長さ 17～397mm (20～400mm) 幅 22～128mm (25～131mm) カット 長さ 17～397mm (20～400mm) 幅 22～128mm (25～131mm) ※() は台紙サイズ ※発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。	
用紙外径／支管サイズ	ロール紙 用紙外径 : 最大 215mm(3 インチ支管) 支管内径 : 3 インチ ファンフォールド紙 最大積み高さ : 100mm	
リボン種類	弊社指定のカーボンリボンのご使用をお願いします。	
リボンサイズ／ リボン形態／ リボン巻方向	リボン長 : 最大 300m 巻 リボン幅 : 最大 111mm 巻き方向 : 裏巻き 巻取り方式 : 支管巻取り	
発行モード	標準 : 連続、ティアオフ オプション : カット、ハクリ	
寸法／重量	幅 271mm × 奥行き 429mm × 高さ 322mm/ 約 13kg	
電源仕様	入力電圧 : AC100V ± 10% 消費電力 : ピーク時 120W/150VA(印字率 30%) 待機時 : 14W/21VA	
環境条件 (温度／湿度)	動作周囲温度 : 5～40℃ 湿度 : 30～80%RH (ただし、結露無きこと) 保管周囲温度 : -5～60℃ 湿度 : 30～90%RH (ただし、結露無きこと) ※サプライ製品は除く。	

モデル名	スキャントロニクス BF408R	スキャントロニクス BF412R
インタフェース	①通信インタフェース(1 スロット) ② EXT コネクタ (アンフェノール 14 ピン)	
通信インタフェース ボード	① IEEE1284 インタフェースボード ② RS-232C インタフェースボード ③ USB インタフェースボード ④ LAN インタフェースボード ⑤無線 LAN インタフェースボード	
オプション	①カッタ仕様 ②ハクリ仕様 ③外部巻取機 (RWG500)	
操作キー	LCD : キャラクタ LCD(16 桁× 2 行) バックライト付き キー : LINE、FEED	
レベル調整	①アイマークセンサレベル調整 ②ギャップセンサレベル調整 ③リボンセンサレベル調整 ④ハクリセンサレベル調整 ⑤印字濃度調整 ⑥印字位置調整 ⑦カッタ、ティアオフ、ハクリ停止位置調整	
用紙長検出センサ	①アイマークセンサ (反射タイプ) ②ギャップセンサ (透過タイプ)	
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、 GS1-128 (UCC/EAN128)、CODABAR (NW-7)、ITF、 インダストリアル 2of5、マトリックス 2of5、カスタマバーコード、 UPC アドオンコード、GS1 DataBar Omnidirectional、 GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、 GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked ※ GS1 DataBar は RSS のことです。	
2次元コード	QR コード、マイクロ QR コード、PDF417、マイクロ PDF、 MAXI コード、GS1 データマトリックス (ECC200)	
合成シンボル	EAN-13 Composite、EAN-8 Composite、UPC-A Composite、 UPC-E Composite、GS1 DataBar Composite、 GS1 DataBar Truncated Composite、GS1 DataBar Stacked Composite、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite、 GS1 DataBar Limited Composite、GS1 DataBar Expanded Composite、 GS1 DataBar Expanded Stacked Composite、GS1-128 Composite ※ GS1 DataBar は RSS のことです。 ※ GS1-128 は UCC/EAN128 のことです。	
標準搭載 フォント	ビットマップフォント X20 文字 5 × 9dot (英数字、記号、カナ) X21 文字 17 × 17dot (英数字、記号、カナ) X22 文字 24 × 24dot (英数字、記号、カナ) X23 文字 48 × 48dot (英数字、記号、カナ) X24 文字 48 × 48dot (英数字、記号、カナ) 漢字 16 × 16dot (JIS 第 1 水準、第 2 水準、角ゴシック体/明朝体選択可) 漢字 24 × 24dot (JIS 第 1 水準、第 2 水準、角ゴシック体/明朝体選択可) ※日本語 (JIS × 208 準拠)	
	OCR-A 文字 15 × 22dot(英数字、記号) OCR-B 文字 20 × 24dot(英数字、記号)	OCR-A 文字 22 × 33dot(英数字、記号) OCR-B 文字 30 × 36dot(英数字、記号)
	ラスタライザフォント CG Times (英数字、記号) CG Triumvirate (英数字、記号)	
	アウトラインフォント 英数字、記号、カナ	
印字方向	文字 : 0°、90°、180°、270° バーコード : パラレル 1 (0°)、パラレル 2 (180°)、 シリアル 1 (90°)、シリアル 2 (270°)	

モデル名	スキャントロニクス BF408R	スキャントロニクス BF412R
バーコード比率	1:2、1:3、2:5 任意指定可能	
拡大倍率 (文字・バーコード)	文字 : 縦 1 ~ 12 倍、横 1 ~ 12 倍 バーコード : 1 ~ 12 倍	
搭載機能	①ステータス返送機能 ②グラフィック機能 ③連番機能 ④フォームオーバーレイ機能 ⑤外字登録機能 ⑥白黒反転機能 ⑦罫線機能 ⑧フォーマット登録機能 ⑨ゼロスラッシュ切替機能 ⑩ JIS / シフト JIS 切替機能 ⑪ ダンプリスト機能 ⑫ アウトラインフォント機能 ⑬ アウトラインフォント変形機能	
自己診断機能	①ヘッド切れチェック ②ペーパーエンド検出 ③カバーオープン検出 ④ヘッドオープン検出 ⑤テスト印字 ⑥リボンエンド検出 ⑦リボンニアエンド検出	
ノイズ (EMC) 規格	VCCI Class B	
無線規格	無線 LAN (2.45GHz)	電波法 2.45GHz 帯高度化小電力データ通信システムの認証

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

無線 LAN 仕様をお買上げのお客様へ

電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく技術基準の適合認証を受けています。従って本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。

以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解 / 改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベル (シリアルシール) をはがすこと

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。

電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線 LAN 機器の近辺。

無線 LAN インタフェースをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

本製品は電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サポート業務をおこなっております。

保守サポート業務について、ご説明します。

保守サポートの種類一覧表

	部品代	技術料	出張料
保証期間内のサポート	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サポート	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます
スポットサポート	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後から5年間です。

(機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ <https://www.sato.co.jp/> でご確認ください。)

保守サポートの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修理にあたります。
持込み保守	SENDバック保守	故障が発生した場合、用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのメンテナンスセンターへ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修理にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サポートの説明

保証期間内の保守サポート

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入から6か月間を保証期間として無償修理をおこなっております。

サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社のサプライ品での走行距離30km（カッタ30万回）または納入から6か月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サポート

最良の状態をご利用いただくために、弊社のカスタマー・エンジニア（CE）が責任を持って、製品の維持・管理をさせていただきます。

1. 優先サポート

故障発生時には、スポット保守サポートのお客様よりも優先的に対応させていただきます。

2. 全国ネットワークでスピーディーな対応

全国電話一本で、弊社 CE が素早く修理にお伺いします。

3. 予防定期点検の実施

定期点検はトラブルを未然に防ぎ、製品の安定稼働、さらにシステム全体の安定稼働に寄与します。

4. 契約料金以外の費用が発生しません

最適発行環境を守るための出張料や技術料、そして交換部品代までをひとつにパッケージ。予算が立てやすく、年間維持費を最小限に抑えることができます。

5. 豊富なバリエーション

お客様のご使用環境に応じた様々なプラン（保守対応・時間帯など）をご用意しております。

※ 保守契約の詳細につきましては、弊社の CE が直接お伺いのうえ、ご案内させていただきます。

スポットサポート

保守契約サポートを申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサポートを実施いたします。

故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までに日数がかかる場合がございますが、ご了承ください。

スポットサポートを実施した場合、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフトなど）は、壊れる場合があります（登録された各種データ・ソフトの保証はできません）。

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

MEMO

DATA